

# 安芸地域アクションプラン 実行3年半の取り組みの総括 [個別]

## 【評価方法】

R5数値目標に対するR5年度末見込みまたは直近の実績の達成状況により  
5段階評価を実施

区分	数値目標に対する評価基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上 110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上 100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満

安 芸 地 域 本 部

令和5年8月31日（木）

指標	評価の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満

【地域アクションプラン 総括シート】  
 ≪安芸地域≫

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
1 安芸地域のユズを中心とした 中山間振興  ≪安芸地域全域≫  日本一のユズ産地として、生産性及び 品質の向上とともに、ユズ果汁等の販路 拡大に取り組み、ユズ販売額の向上を図 る。  【実施主体】 ・◎JA高知県（安芸地区） ・◎JA馬路村	農業	<p>&lt;新植・改植の推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>園地の集約化に向けた取り組み（R元～4）</li> <li>優良系統苗の確保（H27～R4）</li> <li>勉強会等による栽培技術の向上（H27～R4）</li> </ul> <p>&lt;ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路 開拓&gt;</p> <p>【JA高知県（安芸地区）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>EU向け青果輸出の取り組み（H24～R5）</li> <li>県内外での消費拡大イベントの開催（R3～4：4回）</li> </ul> <p>【JA馬路村】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワーキングホリデー事業を活用した 村外労働力の確保（H29～R4）</li> <li>海外催事への参加による加工品のPR （H29～R4）</li> <li>販売拡大に向けた新商品の開発 （H24～R4）</li> <li>リスティング広告の試行（H30） 産業振興推進総合支援事業費補助金</li> <li>ゆずゼリー充填機械の整備、EC サイトの改修等（R2～3） 新型コロナウイルス感染症対策産業 振興推進特別支援事業費補助金 R2～3：12,360千円</li> </ul>	<p>&lt;新植・改植の推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>園地調査の実施（R4：安芸市畑山地区）</li> <li>苗木供給数 H27：5,570本 →R4：9,647本</li> <li>新植・改植の推進 （上記苗木供給数より推定） H27～R4累計：約67ha</li> </ul> <p>&lt;ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路 開拓&gt;</p> <p>【JA高知県（安芸地区）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>EU向け青果輸出量 H24：3.1t → R3：2.3t → R4：2.7t</li> </ul> <p>【JA馬路村】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワーキングホリデー事業参加者 H29～R4累計：64名（R4：13名）</li> <li>新商品開発 R3：5種 R4：5種</li> </ul>	<p>総出荷量（JA高知県）</p> <p>&lt;目標値（R5）&gt; 5,500 t （R2～5平均）</p> <p>&lt;出発点&gt; 5,079 t （H27～R元平均 （H28を除く））</p> <p>※園芸年度：9～8月</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; —</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 4,942t （R元～4平均）</p> <p>※園芸年度：9～8月</p>	B	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出荷量については年次変動（裏 年・表年）が大きいため、目標が達 成できない年もある。</li> <li>新植・改植の推進から優良苗木の 供給、新規就農者を中心とした栽培 指導により、一定の出荷量は確保で きた。</li> <li>コロナ禍で贈答用の需要が落ち込 み、通販売上高が目標には達してい ない。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユズ園地の流動化に向けた園地調 査を、未実施地区でも取り組んでい く必要がある。</li> <li>新規顧客獲得や売上高増加に向け て、継続的な新商品の開発と、SNS 等を活用した積極的な販促活動が必 要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>優良苗木供給に向けた取り 組みの継続</li> <li>新規就農者等、担い手の早 期技術習得を支援</li> <li>園地台帳を活用したユズ園 地の流動化の仕組みを確立</li> <li>継続的な新商品の開発や SNS等を活用した積極的な販 促活動</li> </ul>
2 日本一のナス産地拡大 クラスタープロジェクト  ≪室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田 野町、安田町、芸西村≫  県東部の基幹品目であるナスの生産拡 大を目指して、新技術の定着や担い手対 策を進める。 また、ナスの機能性表示を生かした青 果販売や新たな加工品の開発・販売及び 地元飲食店等での利用促進に取り組み、 クラスターの形成を図る。  【実施主体】 ・◎JA高知県（安芸地区） ・ゆめファーム全農こうち ・㈱アグリード土佐あき ・安芸市担い手支援協議会 ・安芸市施設園芸消費拡大委員会 ・(一社)高知県東部観光協議会 ・(一社)安芸市観光協会 ・安芸商工会議所 ・地元加工業者 ・加工グループ ・地元飲食店 ・地域直販所 ・(一社)こうち絆ファーム	農業	<p>&lt;生産拡大と品質向上の取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆめファーム全農こうちの栽培検討 会の開催（H29～R5）</li> <li>環境制御技術の導入推進（H26～ R5）</li> <li>安芸市担い手支援協議会幹事会の定期 開催によるサポートハウスの現況確認 就農希望者の面談（H28～R5）</li> <li>安芸市農福連携研究会の定期開催によ る各関係機関の取り組み状況確認等 （H30～R5）</li> </ul> <p>&lt;ナスを使った新規加工品の開発・販売 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6次産業化セミナーの受講支援 （H30、R元、R4）</li> <li>新規加工品の開発支援（H30～R5）</li> </ul> <p>&lt;ナスの消費拡大と認知度向上&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「安芸市施設園芸消費拡大委員会」 のホームページ等への掲載によるPR （ナス料理店マップ（R元～5）） ナスレシピ動画（R2～5））</li> <li>機能性を活かした販売方法の検討 （R2～4）</li> </ul>	<p>&lt;生産拡大と品質向上の取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆめファーム全農こうちにおける10a 当たり収量 H30：（土耕）18t →R2：（土耕区）11t、（養液区）23t →R3：（土耕区）30t、（養液区）35t</li> <li>環境制御技術導入面積率 R2：46%→R3：47%→R4：51%</li> <li>新規就農者数 （安芸市担い手協議会が関与した数） R2：4人→R3：4人→R4：4人</li> <li>農福連携による雇用マッチング実績 （アグリサポートを介した数） R2：41人→R3：18人→R4：3人</li> </ul> <p>&lt;ナスを使った新規加工品の開発・販売 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規加工品の開発 R2：2品</li> </ul> <p>&lt;ナスの消費拡大と認知度向上&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ナス料理のレシピ動画公開数 R2：8品、R3：2品、R4：1品</li> <li>ナスの機能性表示承認（R2）</li> <li>ナス青果機能性表示パッケージの活用 （JA）（R2～4）</li> <li>ナスの機能性PR動画の制作（R2） 及び公開（R3～4）</li> <li>ナススタンプラリーの開催（R2.4） 「軽トラマルシェ」の開催（R4～5）</li> </ul>	<p>出荷量</p> <p>&lt;目標値（R5）&gt; 20,000t （年間）</p> <p>&lt;出発点（R元）&gt; 18,674t （年間）</p> <p>H28.9月～R元.8月の 3ヶ年平均 ※園芸年度：9～8月</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; —</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 20,465t （年間） 【R4年度末】</p> <p>※園芸年度：9～8月</p>	A	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境測定データ等を基にした栽培 管理改善指導により、収量・品質が 向上し、目標の達成につながった。</li> <li>新規就農者の確保・育成と、農福 連携も含めた労働力の確保も継続し て取り組んでいる。</li> <li>ナスの消費宣伝活動については、 レシピ動画の公開などの新たな取り 組みも始まった。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ナスを使った新規加工品の製造委 託先の探索および商品化の支援が必 要。</li> <li>加工事業者の掘り起こし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産拡大や担い手育成の取 り組みについては、関係機関 と連携しながら進めていく。</li> <li>ナスの加工品の開発・販売 や、消費拡大に向けた活動に ついて、支援を継続してい く。</li> </ul>
				<p>通販売上高（JA馬路村）</p> <p>&lt;目標値（R5（暦年））&gt; 10億円 （年間）</p> <p>&lt;出発点（R元（暦年））&gt; 8.1億円 （年間）</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; —</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 7.8億円 （年間） 【R4（暦年）】</p>	C		
				<p>新規加工品開発数</p> <p>&lt;目標値（R5）&gt; 3件 （R2～5累計）</p> <p>&lt;出発点&gt; 2件 （H29～R元累計）</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; 3件 （R2～5累計）</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 2件 （R2～4累計）</p>	A		

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>3 東洋町のボンカンの加工品開発と後継者確保による地域振興</p> <p>《東洋町》</p> <p>東洋町の特産品であるボンカンを活用した加工品の開発を進めるとともに、移住・定住の促進による後継者の確保に取り組むことにより、地域振興を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎フクチャンFARM</li> <li>◎東洋町</li> <li>ボンカン生産者</li> <li>甲浦の果樹仲間</li> </ul>	農業	<p>&lt;ボンカン加工品の新商品開発と販路拡大&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こうち産業振興基金（建設業経営革新事業費補助金）を活用したボンカン栽培、ボンカンを使った新商品開発の開始（H28）</li> <li>・高知6次産業化サポートセンタープランナー派遣（R元～3）</li> <li>・県内量販店でのボンカン取り扱い開始（R2）</li> <li>・ボンカン振興対策協議会の設立（R2）</li> <li>・パッケージ改良（R3）</li> <li>6次産業化商品力向上事業補助金 R3：100千円</li> <li>・東洋町フェア（まるごと高知で開催）でのPR（R4）</li> </ul> <p>&lt;後継者の確保&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーキングホリデーの活用（R3～）</li> <li>・地域おこし協力隊の募集開始（R3～）</li> <li>・移住情報サイトへの情報掲載（R4）</li> <li>・移住フェア等への参加（R4）</li> <li>・JTBアグリワーケーションの実施（R4）</li> </ul>	<p>&lt;ボンカン加工品の新商品開発と販路拡大&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発数 1商品</li> <li>⇒ボンカン商品の充実（H28からの累計：16商品）</li> </ul> <p>&lt;後継者の確保&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住担当と農業担当が連携し、後継者確保について協議を開始することができた。移住フェアだけでなく、ワーキングホリデーやアグリワーケーション等の活用により、移住と後継者確保について取り組むきっかけとなった。</li> <li>⇒地域おこし協力隊への応募 R3：1名</li> <li>ワーキングホリデー R3：6名、R4：11名</li> <li>JTBアグリワーケーション R4：16名</li> </ul>	<p>商品開発数</p> <p>&lt;目標値(R5)&gt; 4商品 (R2～5累計)</p> <p>&lt;出発点&gt; 15商品 (H28～R元累計)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; 2商品 (R2～5累計)</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 1商品 (R2～4累計)</p>	D	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商談会やイベントへの出店など積極的なPRを行ってきた。また、お土産などで、購入しやすいようにセット販売をするなどの工夫もあり、商品販売数が伸びている。</li> <li>・ボンカン振興対策協議会を設立し、生産者・行政・JAなど各関係機関でボンカン産地の維持や後継者確保などについて考える体制ができた。</li> <li>・後継者確保について、移住フェアだけでなく、特定地域づくり事業協同組合との連携や、ワーキングホリデーやアグリワーケーションの活用にも取り組んでいる。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手確保によるボンカン生産の維持</li> <li>・東洋町のボンカンの認知度の向上</li> <li>・生産者・行政・JA等関係機関による課題の共有と 課題解決に向けての連携</li> <li>・地域おこし協力隊や新規就農者の確保と、受け入れ体制の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部エリアのお土産としてのボンカン加工品の定着</li> <li>・担い手確保に向けた、役場移住担当・農業担当、農業振興センター、特定地域づくり事業協同組合など各関係機関との連携</li> <li>・ボンカンの認知度を高めるためのPR活動</li> <li>・ボンカン振興対策協議会の活動強化</li> </ul>
				<p>商品の販売数</p> <p>&lt;目標値(R5(暦年))&gt; 8,400個 (年間)</p> <p>&lt;出発点(H30(暦年))&gt; 6,574個 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; 13,860個 (年間) 【R5(暦年)】</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 12,532個 (年間) 【R4(暦年)】</p>			

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>4 芸西村の白玉糖による地域活性化</p> <p>《芸西村》</p> <p>伝統ある芸西村の白玉糖の生産を拡大し、白玉糖を活用した新商品を開発・販売することにより、ブランド化を図るとともに、白玉糖を活用した体験型観光を推進し、認知度の向上と地域の活性化につなげる。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎芸西村製糖組合</li> <li>◎大和リゾート㈱</li> <li>芸西村</li> <li>集落活動センターげいせい</li> <li>生産者グループ</li> </ul>	農業	<p>＜技術を継承する人材の育成＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>製糖作業への参画を通じた人材確保・育成</li> <li>白玉糖や製糖組合を周知するチラシ作成（R4）</li> </ul> <p>＜白玉糖の生産拡大・品質向上＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ロイヤルホテル土佐の敷地内でサトウキビを栽培（R2～）</li> <li>ロイヤルホテル土佐のショップにて白玉糖及び白玉糖商品（食パン等）の販売開始（R3～）</li> <li>集落活動センターによる県版HACCP旧2ステージの取得（R3）</li> <li>HACCP専門家派遣を芸西村伝承館等で受入（R3）</li> <li>集落活動センターがグルメ&amp;ダイニングスタイルショーに出展（R4）</li> <li>製糖組合が北海道及び黒潮カントリークラブで白玉糖をPR（R4）</li> </ul> <p>＜体験メニューの造成・磨き上げ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>白玉糖炊き上げ体験メニューの実施（H27～）</li> <li>土佐の観光創生塾を受講し、体験プログラム（さとうきび収穫体験）を造成（R2）</li> <li>県・芸西村・製糖組合・ロイヤルホテル土佐の4者によるHACCPに対応した新施設の検討（R3～R4）</li> <li>芸西村製糖組合の申請により白玉糖が文化庁の100年フードに認定（R4）</li> </ul>	<p>＜技術を継承する人材の育成＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>組合員数の増加</li> <li>R2：6名 → R4：7名</li> </ul> <p>＜白玉糖の生産拡大・品質向上＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集落活動センターげいせいのサトウキビ栽培面積</li> <li>R2：7畝 → R3：9畝</li> <li>ロイヤルホテル土佐のサトウキビ栽培面積</li> <li>R2：400㎡ → R3：1,100㎡</li> <li>集落活動センターげいせいの白玉糖加工品の売り上げ</li> <li>H30：390千円 → R4：2,489千円</li> </ul>	<p>村内サトウキビ収穫量</p> <p>＜目標値（R5）＞</p> <p>38t （年間）</p> <p>＜出発点（H30）＞</p> <p>19t （年間）</p>	<p>＜R5年度末見込＞</p> <p>40t （年間）</p> <p>＜直近の実績＞</p> <p>40.4t （年間）</p> <p>【R4年度末】</p>	A	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>村内サトウキビ収穫量が増加し目標を上回って達成している。</li> <li>各種商談会への参加により、白玉糖を活用した加工品の取引拡大につながった。</li> <li>中山間振興アドバイザーを活用し、お菓子づくりの講習を実施したことにより、白玉糖を使った新商品の開発・販売に至り、魅力発信の機会が広がった。</li> <li>ロイヤルホテル土佐の朝食会場の白玉糖生キャラメルが好評で宿泊者の満足度向上に貢献した。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>製糖組合員の高齢化、伝統技術継承者の育成</li> <li>サトウキビの収益性の向上</li> <li>製糖施設の老朽化</li> <li>衛生管理への対応</li> <li>製糖可能量の拡大に限界がある</li> <li>白玉糖の認知度向上と販路拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>白玉糖などのさらなる販路拡大</li> <li>白玉糖の取扱い事業者の開拓</li> <li>白玉糖体験メニューの充実による認知度向上と担い手の確保</li> </ul>
				<p>体験プログラム参加人数</p> <p>＜目標値（R5）＞</p> <p>200人 （年間）</p> <p>＜出発点（R元）＞</p> <p>21人 （年間）</p>	<p>＜R5年度末見込＞</p> <p>— （年間）</p> <p>＜直近の実績＞</p> <p>38人 （年間）</p> <p>【R4年度末】</p>			
<p>5 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化</p> <p>《室戸市、東洋町》</p> <p>新規就業者の確保等により備長炭の生産量を拡大し、国内トップの備長炭産地として安定供給体制を築くことにより、地域における就業の場の創出と伝統産業の継承を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎室戸市木炭振興会</li> <li>◎土佐備長炭室戸生産組合</li> <li>◎土佐備長炭生産組合</li> <li>◎土佐備長炭東洋組合</li> <li>◎備長炭生産者</li> <li>室戸市</li> <li>東洋町</li> </ul>	林業	<p>＜生産者の組織化＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>室戸市木炭振興会の設立（H19.9）</li> <li>土佐備長炭生産組合の設立（H21.4）</li> <li>土佐備長炭室戸生産組合の設立（H28.8）</li> <li>土佐備長炭東洋組合の設立（H30.9）</li> </ul> <p>＜従事者の拡大＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特用林産業新規就業者支援事業を活用した研修生の受入（H21～R5）</li> <li>受入先：室戸市の生産者：20人</li> <li>受入先：東洋町の生産者：24人</li> </ul> <p>＜生産施設の整備＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業振興推進総合支援事業費補助金を活用した製炭窯等の整備</li> <li>【室戸市木炭振興会】（現：土佐備長炭室戸生産組合）</li> <li>研修窯2基（H21）、研修窯1基（H22）</li> <li>【土佐備長炭生産組合】</li> <li>共同利用窯2基（H21）</li> <li>共同利用窯1基、保管庫1棟（H22）</li> <li>共同利用窯4基、フォークリフト1台（H25）</li> </ul> <p>＜原木林の造成＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウバメガシの植栽、保育施業への支援</li> </ul>	<p>＜生産者の組織化＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>組織化による原木の一括購入により、原木の安定調達が可能となった。</li> <li>【土佐備長炭生産組合、土佐備長炭東洋組合】</li> </ul> <p>＜従事者の拡大＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修窯の設置等による新規就業者の増加</li> <li>研修生受入人数（H21～R5）：44人</li> <li>→ 研修後に就業した者（R4時点）：40人</li> <li>→ 研修中（R5.6月時点）：2人</li> </ul> <p>＜生産施設の整備＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>従事者や製炭窯の増加による生産量の増大（H21～）</li> <li>H20：555t → R3：1,211t</li> <li>着実に成長を続け、H26以降、高知県の白炭生産量は全国一位。室戸市と東洋町で県内生産量の約90%程度を生産</li> </ul> <p>＜原木林の造成＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウバメガシ人工林への林植転換</li> </ul>	<p>生産量</p> <p>＜目標値(R5(暦年))＞</p> <p>1,534 t （年間）</p> <p>＜出発点(H30(暦年))＞</p> <p>1,284 t （年間）</p>	<p>＜R5年度末見込＞</p> <p>— （年間）</p> <p>【R5(暦年)】</p> <p>＜直近の実績＞</p> <p>1,211 t （年間）</p> <p>【R3(暦年)】</p>	C	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規就業者の増加と製炭窯の整備が進んだこともあり、生産体制の強化は進んでいる。出荷量については新型コロナウイルスの影響もあって、R2、R3と横ばいの状況である。現状では目標値に達していないが、地域の産業として成長している。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土佐備長炭の製炭用原木の安定調達・確保</li> <li>研修終了者の自立支援</li> </ul>	<p>（具体的内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウバメガシ原木の安定調達を図るため、公有林におけるウバメガシ林分の公売や、スギ・ヒノキ人工林からウバメガシ等（製炭林原木）の人工林への転換を検討する。</li> <li>土佐備長炭原木として活用できる林分の位置や、林齢等の森林情報を地域の製炭者が利用できる仕組みの構築等に向けて、レーザー測量等の林分解析の活用を進める。</li> <li>研修生への制度資金等の既存施策の周知など研修終了後の自立を支援する。</li> </ul>

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>6 馬路の林業加工品の販売促進</p> <p>《馬路村》</p> <p>販路の拡大や新商品の開発、生産性の高い加工機械の導入等により木材や木製品の販売を促進し、事業体の雇用の確保と経営の安定化を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎(株)エコアス馬路村</li> <li>◎馬路林材加工協同組合</li> <li>馬路村森林組合</li> </ul>	林業	<p>&lt;営業力の強化&gt;</p> <p>〔株)エコアス馬路村〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業振興推進総合支援事業費補助金の活用による新商品の開発等の実施(H21)</li> <li>木製バックmonaccaシリーズへの新作の追加(H21、H29)</li> <li>展示会出展(H21～30)</li> <li>ホームページのリニューアルによる直販の強化(H25～)</li> <li>新商品の販売促進(H29)</li> </ul> <p>産業振興推進総合支援事業費補助金(ステップアップ事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木製バックmonaccaシリーズ(ポストマン)の改良(R4～)</li> </ul> <p>〔馬路林材加工協同組合〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウッドショック後を見据えた関西圏への販路拡大</li> <li>産業振興アドバイザー招へい3回(R4)</li> </ul> <p>&lt;収益性の改善&gt;</p> <p>〔株)エコアス馬路村〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レーザー加工機1台の導入(H29)</li> </ul> <p>〔馬路林材加工協同組合〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経営コンサルタントを活用した事業戦略の策定及び支援(H30、R元～3)</li> <li>モルター1台の導入(R3)</li> <li>製品倉庫の建築及び電動フォークリフトの導入(R4)</li> </ul> <p>〔馬路村森林組合〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>丸棒削機1台、乾燥機1基の導入(H25)</li> </ul>	<p>&lt;営業力の強化&gt;</p> <p>〔株)エコアス馬路村〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>塗装の改良や新商品開発による販売アイテムの充実</li> <li>ウェブサイトをカタログなど営業推進ツールの充実</li> </ul> <p>&lt;収益性の改善&gt;</p> <p>〔馬路林材加工協同組合、馬路村森林組合〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した加工機械の入れ替え</li> </ul> <p>⇒生産性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>乾燥機の導入</li> </ul> <p>⇒製材品の乾燥品質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経営コンサルタントの活用</li> </ul> <p>⇒各職員が経営者的な感覚で、目標を掲げて業務を遂行する姿勢を持つようになってきた。</p>	<p>木製品出荷額</p> <p>&lt;目標値(R5)&gt; 2.13億円 (年間)</p> <p>&lt;出発点(H30)&gt; 1.78億円 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; — (年間)</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 2.53億円 (年間) 【R4年度末】</p>	S	<p>〔評価〕</p> <p>新商品の開発、加工機械の導入、経営コンサルや産振アドバイザーの活用等により、事業戦略の策定・実行支援や営業力、生産性の向上に努めてきた。R3、R4は、ウッドショックの影響もあり、製品販売額においては目標を達成できた。ただ、雇用人数については就業者の高齢化等もあり、目標達成は厳しい見込みである。</p> <p>〔課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木製品の販売促進</li> <li>加工力の強化</li> <li>担い手の確保</li> </ul>	<p>馬路村での木材や木製品生産の取り組みは、販路の拡大や新商品の開発、生産性の高い加工機械の導入等によって、木材や木製品販売額を伸ばしている。</p> <p>今後も販売額を維持しながら、事業体の雇用と経営の安定化に取り組んでいく。</p> <p>(具体的内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>馬路村あるいは魚梁瀬の木材加工品の品質の良さをアピールし、総合的なブランディングを図る。</li> <li>住宅用部材の製材品とギフト商品等の木製品を一体的にセールスする等、営業・販売の手法を工夫しながら、木製品の販売促進を図る。</li> <li>アドバイザー制度を活用した取り組みの成果として、構造部のキット化による馬路モデルの住宅販売。</li> <li>木材乾燥機の追加導入(R5予定)による品質の安定化。それに伴う、部材、卸別販売への対応強化により、売上げの向上を目指す。</li> </ul>
				<p>雇用者数(加工部門)</p> <p>&lt;目標値(R5)&gt; 22人 (年間)</p> <p>&lt;出発点(H30)&gt; 22人 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; — (年間)</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 21人 (年間) 【R4年度末】</p>			

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>7 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大</p> <p>《室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町》</p> <p>芸東地域の定置網漁獲物や近海マグロを中心に、漁業者や水産加工業者による加工品の開発・製造・販売を進め、付加価値向上・漁業所得の向上につなげる。</p> <p>【実施主体】 漁業者： ・◎(株)美阿丸 ・土佐室戸鯖軍団 ・室戸市定置漁業振興協議会 ・中芸定置網漁業振興協議会</p> <p>水産加工業者： ・◎(有)タカシン水産(佐喜浜工場) ・◎(有)山本かまぼこ店 ・漁師の食卓</p>	水産業	<p>＜漁業者による加工品の製造販売＞ (美阿丸)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>加工場建設に関する協議 R2: 8回 R3: 13回 R4: 2回</li> <li>加工場建設 (R4) 高知県新事業チャレンジ事業費補助金 R4: 6,966千円</li> <li>室戸市企業立地促進事業費補助金</li> <li>ECサイトへの出店 (R4: 2件)</li> <li>HP構築 室戸市商工業販売促進事業費補助金</li> <li>既存商品の改善 高知の魅力発信プロジェクト2022</li> <li>HACCP取得に向けたセミナー受講 (R5)</li> <li>こうちSDGs推進企業に登録 (R4)</li> </ul> <p>(土佐室戸鯖軍団)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>PR活動 R3: 1回</li> </ul>	<p>＜漁業者による加工品の製造販売＞ (美阿丸)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>加工場が整備 (R5.2) ⇒商品の内製化や規模拡大に向けた足がかりができた。</li> </ul>	<p>漁業者による加工品販売額</p> <p>＜目標値 (R5)＞ 300万円 (年間)</p> <p>＜出発点 (H30)＞ 45万円 (年間)</p>	<p>＜R5年度末見込＞ 91万円 (年間)</p> <p>＜直近の実績＞ 82万円 (年間) 【R4年度末】</p>	D	<p>[評価] ・加工場建設に必要な資材の不足や高騰による規模見直しのため、竣工が大幅に遅れたことから、加工場稼働による目標達成には及んでいない。R4に加工場が建設され、今後は目標が達成できる見込みがついた。また、販路開拓はネット通販に積極的に取り組んだが、シーフードショーへの出展はコロナ禍や加工場建設遅延のため断念した。</p> <p>[課題] ・加工場の運営が開始直後のため、安定した事業を実施するための体制が不十分である。また、販路も今後開拓する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>衛生管理体制の構築を含め、生産体制を確立</li> <li>販路開拓</li> <li>これら両方を進めることで、需要と供給両方を増やし、販売額を増やす。</li> </ul>
		<p>＜水産加工業者による加工品の製造販売＞ (タカシン水産)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業振興推進総合支援事業費補助金を活用した室戸工場整備 (H21)</li> <li>加工場のHACCP対応、商品内製化のための設備導入及びECサイト整備 (R2) 新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金 R2: 14,033千円</li> <li>新商品の開発 R3: 1件、R4: 2件</li> </ul> <p>(山本かまぼこ店)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新加工場建設に係る基本設計等 (R2) 産業振興推進総合支援事業費補助金 (ステップアップ事業) R2: 1,261千円</li> <li>新商品開発及び生産効率向上のための設備導入 (R3) 新事業チャレンジ事業費補助金 R3: 8,145千円</li> <li>新商品の開発 R3: 2件 R4: 0件(2件検討)</li> <li>販路開拓・展示会出展</li> </ul>	<p>＜水産加工業者による加工品の製造販売＞ (タカシン水産)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工場の改修・整備により衛生管理体制を構築することができ、販路拡大に係る強みとなった。 ⇒R5.6: 新県版HACCP第2ステージ更新</li> </ul> <p>(山本かまぼこ店)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設備導入により、3温度帯(常温・冷蔵・冷凍)への対応が可能となり、県外や海外への販路拡大に繋がった。 ⇒R4: 海外2社を含む計24社と新規取引</li> </ul>	<p>水産加工業者の販売額</p> <p>＜目標値 (R5)＞ 3.0億円 (年間)</p> <p>＜出発点 (H30)＞ 2.5億円 (年間)</p>	<p>＜R5年度末見込＞ 2.5億円 (年間)</p> <p>＜直近の実績＞ 2.5億円(見込) (年間) 【R4年度末】</p>	C	<p>[評価] ・衛生管理体制の構築や新商品の開発、販路開拓が一定進んだが、資材や経費の高騰によって施設整備が十分に進まなかった。結果、実績は出発点からほぼ横ばいとなった。</p> <p>[課題] ・衛生管理や輸出、冷凍品への対応や量産化など市場のニーズに対応するための施設整備が今後も必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の衛生管理体制の構築や販路開拓、新商品開発を継続</li> <li>コストやマーケットの情勢を見ながら適切な施設整備を実施</li> </ul>
<p>8 室戸海洋深層水による地域産業の推進</p> <p>《室戸市》</p> <p>スジアオノリ養殖事業のさらなる発展や、深層水商品のブランド化による販売力の強化、海洋深層水を活用した新たな地域振興の取り組みにより、地域産業の推進を図る。</p> <p>【事業主体】 ・◎深層水関連事業者 ・室戸市</p>	商工業	<p>＜スジアオノリ養殖事業のさらなる発展＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三島食品(株)が室戸市から指定管理を受託し(H27～)、海洋深層水を利用したスジアオノリの陸上養殖を実施</li> </ul> <p>＜深層水商品のブランド化による販売力の強化・海洋深層水を活用した新たな地域振興の取り組みの推進＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>室戸市海洋深層水推進構想策定 (R2) 産業振興推進総合支援事業費補助金 (ステップアップ事業) R2: 1,608千円</li> <li>海洋深層水企業クラブのイベント出展 (R2: 2件、R3: 3件、R4: 4件)</li> <li>海洋深層水機能性研究開発アドバイザーの委嘱・個別相談会等の開催 (R2: 1回、R3: 2回、R4: 2回)</li> <li>(その他の県支援) 室戸海洋深層水のブランドマークの運用 (R2 商標登録更新ほか)、海洋深層水パンフレットのデジタル化 (R3)、室戸海洋深層水のプロモーション動画の作成・公表 (R4)</li> </ul>	<p>＜スジアオノリ養殖事業のさらなる発展＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>養殖技術のノウハウが蓄積され、胞子の育成不良などのトラブルにも対策を実施している。</li> </ul> <p>＜深層水商品のブランド化による販売力の強化・海洋深層水を活用した新たな地域振興の取り組みの推進＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>深層水関連企業による商品開発数(=ブランドマーク使用許可数) R2: 5社24製品、R3: 7社17製品、 R4: 7社23製品 ※安芸地域外の事業者分含む</li> </ul>	<p>スジアオノリの生産量 (高岡漁港)</p> <p>＜目標値 (R5)＞ 3.6t (年間)</p> <p>＜出発点 (H30)＞ 3.3t (年間)</p>	<p>＜R5年度末見込＞ — (年間)</p> <p>＜直近の実績＞ 3.3t (年間) 【R4年度末】</p>	B	<p>[評価] ・海洋深層水を利用したスジアオノリの陸上養殖については、R2の生産量が3.66tとR5目標を達成したものの、R3にスジアオノリ胞子の育成不良が発生したため、同年の生産量は2.7tと大きく減少した。 スジアオノリの新たな胞子の導入などの対策を行うことにより、生産量は回復傾向にあるが、目標値及び過去の最高値である3.6tの達成は難しい状況</p> <p>[課題] ・海洋深層水関連製品の売上は、R2以降コロナ禍の影響もあり下降傾向が続いているものの、海洋深層水は地域の重要な産業資源であることは変わらないため、まずはコロナ禍前の水準回復を目指して活性化策を実施していく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海洋深層水を利用したスジアオノリの陸上養殖を支援していく。</li> <li>室戸海洋深層水のブランド化や販売力の強化等に関しては、海洋深層水の新たな活用事業者を発掘していく取り組みを進める。</li> </ul>

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>9 キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大</p> <p>《室戸市》</p> <p>道の駅キラメッセ室戸「楽市」を拠点とし、地域産品の充実や販売を促進するとともに、周辺施設等と連携することで、地産地消・外商及び交流人口の拡大を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎協同キラメッセ室戸商</li> <li>◎室戸市</li> </ul>	商工業	<p>＜農産物の確保＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>庭先集荷事業の継続（H28～）</li> <li>実証栽培圃場の設置（H30～）</li> <li>県内外の直販所等との連携（R4～）</li> </ul> <p>＜加工品の開発、販路拡大＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>加工施設整備・駐車場拡張</li> <li>産業振興推進総合支援事業費補助金（H26～27）</li> <li>加工品開発（ジェラートの新味開発等）</li> <li>ふるさと納税返礼品の活用</li> <li>SNS（Twitter）を活用した情報発信</li> <li>県内外の直販所等との連携（R4～）</li> </ul>	<p>＜農産物の確保＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>庭先集荷実施により、これまで直接出荷が困難であった生産者からも農作物を入手することができた。</li> <li>⇒庭先集荷した野菜の出荷額 R2：146万円 →R3：383万円 →R4：904万円</li> <li>県内外の直販所等との連携により、夏場の野菜不足を緩和することができた。</li> </ul> <p>＜加工品の開発、販路拡大＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税制度を活用することにより、外貨を獲得することができた。</li> <li>⇒ふるさと納税額 R2：5,934万円 →R3：7,314万円 →R4：8,203万円</li> <li>県内外の直販所等との連携により、室戸市産の加工品等について販路を拡大することができた。</li> <li>⇒連携事業者数：5者（R5.6時点）</li> </ul>	<p>売上高</p> <p>＜目標値（R5）＞ 4.2億円 （年間）</p> <p>＜出発点（H30）＞ 4.1億円 （年間）</p>	<p>＜R5年度末見込＞ — （年間）</p> <p>＜直近の実績＞ 3.58億円 （年間） 【R4年度末】</p>	B	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内外の直販所等との交流をスタートさせ、農産物の確保や販路拡大に積極的に取り組むことができています。</li> <li>ふるさと納税額を毎年増加させることに成功しており、ファン獲得につながっている。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夏場の農作物が不足している。</li> <li>慢性的な人手不足により、営業活動や加工品製造、庭先集荷事業の拡大に注力できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>加工品製造（弁当、惣菜等を含む）の強化</li> <li>レストラン「食遊」との連携強化・地産地消の拡大</li> <li>他の直販所とのさらなる連携、販路拡大</li> </ul>
<p>10 室戸市中心市街地の活性化</p> <p>《室戸市》</p> <p>新たに策定する室戸市中心市街地振興計画に基づき、空き店舗や地域資源を活用した取り組みなどを進めることで室戸市中心市街地の魅力を高め、住民や観光客の利用促進を図り、地域の活性化につなげる。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎室戸市商工会</li> <li>◎室戸市</li> </ul>	商工業	<p>＜中心市街地の活性化に向けた新たな取り組みの実施＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>室戸市中心市街地振興協議会の設立（R元）</li> <li>チャレンジショップ運営、利用者の募集、広報（室戸市中心市街地振興計画推進事業費補助金）</li> <li>地域おこし協力隊の募集・雇用（雇用期間：R4.5～R5.6）</li> </ul> <p>＜既存商店街の魅力向上に向けた取り組みの推進＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イベント実施及び情報発信体制の構築（室戸市中心市街地振興計画推進事業費補助金）</li> </ul>	<p>＜中心市街地の活性化に向けた新たな取り組みの実施＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チャレンジショップ利用を通じて新規開業に促すことができた。</li> <li>⇒チャレンジショップ卒業生からの新規開業数 チャレンジショップ6件/うち開業3件</li> <li>地域おこし協力隊を雇用することにより、中心市街地の活性化に資する取り組みを実施することができた。</li> <li>⇒R5.3～ クーポン券事業を1回実施</li> </ul> <p>＜既存商店街の魅力向上に向けた取り組みの推進＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>室戸市中心市街地振興計画推進事業費補助金を活用した飲み歩きスタンプラリーイベントを開催することにより、中心市街地のにぎわい創出を図ることができた。（R4.11）</li> <li>⇒参画事業者21者、景品抽選申込数128件</li> </ul>	<p>中心市街地での事業所の新規開業</p> <p>＜目標値（R5）＞ 2件 （R2～5累計）</p> <p>＜出発点＞ —</p>	<p>＜R5年度末見込＞ 5件 （R2～5累計）</p> <p>＜直近の実績＞ 5件 （R2～4累計）</p>	S	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チャレンジショップの運営、その後の経営支援等により、新規開業数を増加させることができています。</li> <li>イベント実施を通じて交流人口拡大や各店舗の売上貢献につながった。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空き店舗の把握ができておらず、新規開業の機会を逃してしまう。</li> <li>室戸市中心市街地振興協議会が年1回しか開催されていないなど、計画実施に積極性が足りない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャレンジショップの運営、それに伴う広報</li> <li>イベント実施</li> <li>空き店舗情報の把握</li> </ul>

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>11 安芸本町商店街を中心とする地域の活性化</p> <p>≪安芸市≫</p> <p>にぎわいと活力のある商店街を目指し、地域内外から人が集まる仕組みづくりや商店街の魅力を高める取り組みを進めることで商店街や周辺地域の活性化を図る。</p> <p>【実施主体】 ・◎安芸本町商店街振興組合 ・安芸商工会議所 ・安芸市</p>	商工業	<p>＜商店街を中心とする地域の活性化＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街内のギフトショップを中核とした市内事業者グループによる地域産品コラボギフトの企画・販売（R2～）</li> <li>・安芸市中心商店街等振興協議会の設置・開催及びワークショップの開催（R3～4）</li> <li>・事業経営AD招へい6回（R3～4）</li> <li>・安芸市中心商店街等振興計画策定（R4）</li> <li>・安芸市中心商店街等振興計画に基づく取組（軽トラマルシェ、浜弁当、たまり場、高校生マルシェ、東洋的漫遊祭、MAP制作）を実施（R4）</li> <li>・商店街等振興計画推進事業費補助金 R4：314千円</li> <li>・安芸商店街振興組合がInstagramを開設し、商店街イベント情報等の発信を開始（R3～）</li> </ul>	<p>＜商店街を中心とする地域の活性化＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税返礼品として市内事業者グループによる地域産品コラボギフトの販売が開始され、市内事業者のPRにつながった。</li> <li>・安芸市中心商店街等振興協議会ワークショップに、商店街、事業者、学生等約40人が参加し、計画策定に向けた検討を実施した結果、安芸市中心商店街等振興計画を策定することができた（R4）（ワークショップ6回、振興協議会3回）</li> <li>・安芸市中心商店街等振興計画に基づく取り組みを実施</li> <li>⇒店の認知度を上げることができた。交流人口の拡大につながった。</li> <li>軽トラマルシェ来場者数 R4.6 507名 R5.1 1,000名 R5.6 1,243名</li> <li>高校生マルシェ来場者 R4.10 170名 R5.1 236名</li> <li>まち歩きMAPを作成し、安芸地域や高知市内の観光施設等に配布</li> </ul>	<p>空き店舗等を活用した新規開業</p> <p>＜目標値（R5）＞ 3件 （R2～5累計）</p> <p>＜出発点（H30）＞ 0件</p>	<p>＜R5年度末見込＞ 3件 （R2～5累計）</p> <p>＜直近の実績＞ 2件 （R2～4累計）</p>	A	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心商店街等振興計画に基づく取り組みを通して地域の事業者等の連携が生まれているほか、取り組みを通じた交流人口の拡大も図られており、商店街を中心としたにぎわいづくりにつながった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街等を中心とした地域の活性化に事業者等が前向きに取り組む意識は育まれているが、主体性が弱く、また高齢化等により活動の担い手が不足している。</li> <li>・商店街組織及び周辺地域の事業者の連携を強化する必要がある。</li> <li>・振興計画の取り組みに参画する事業者の広がりが少ない。</li> <li>・商店街等への出店を希望する事業者も散見されるようになっているが、空き店舗情報が収集されておらず、円滑な出店先の確保につながらない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振興計画に基づく取り組みの継続</li> <li>・振興計画に基づく取り組みの担い手確保の強化</li> <li>・空き店舗情報の収集</li> <li>・商い甲子園の復活</li> </ul>
<p>12 海の駅東洋町を拠点とした地域振興</p> <p>≪東洋町≫</p> <p>高知県の東の玄関口である東洋町の観光の窓口及び地元特産品の販売、飲食施設等の機能を持つ「海の駅東洋町」を核とした交流人口の拡大により、地域の活性化を図る。</p> <p>【実施主体】 ・東洋町</p>	商工業	<p>＜運営体制の強化＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊の雇用、駅長の設置（R3）</li> <li>・スタッフの意識改革に向けた取り組み（R4）</li> <li>・地域活性化起業家制度の活用（R4）</li> <li>・指定管理による営業開始（R5）</li> </ul> <p>＜地域特産品を活用した加工品の開発・販売＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボンカンを使用した土産品の開発・販売（R2～）</li> <li>・地元の魚を使ったお刺身定食や、マグロ丼の提供開始。魚を使ったお惣菜や、お刺身バックなどの販売開始（R4）</li> </ul> <p>＜誘客の促進＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知6次産業化サポートセンターよりプランナー派遣（R元～3）</li> <li>・自動ドア化、キャッシュレス化、屋外備品購入（R2）</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金 R2：4,725千円</li> <li>・BBQ事業の開始（R4）</li> <li>・直売所間交流事業（R4～）</li> </ul>	<p>＜運営体制の強化＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅長を中心とした運営体制となり、スタッフの意識改革等に取り組む、スタッフの自主性や挑戦する姿勢が大きく改善された。</li> <li>⇒店舗の魅力向上、来客の満足度向上。</li> </ul> <p>＜地域特産品を活用した加工品の開発・販売＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品であるボンカンを活用した商品の開発 3商品</li> <li>⇒地域特産品のPR、土産品の充実</li> <li>・地元の魚を使ったメニューの開発、人気メニュー化</li> <li>⇒売上げ増加</li> </ul> <p>＜誘客の促進＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金の活用 ⇒感染症対策等を行った。（キャッシュレス化、入り口の自動ドア化、屋外飲食スペースの拡充）</li> <li>・BBQ事業 ⇒新たな客層の獲得</li> <li>・農産物マーケティング戦略の実施する直売所間交流事業への参加をきっかけに、他の直売所と商品の交流を行っている。</li> <li>交流直売所数：12カ所（R5.6月末時点）</li> <li>⇒店舗の商品の充実、町内の生産者の販路拡大</li> </ul>	<p>売上高</p> <p>＜目標値（R5）＞ 1.76億円 （年間）</p> <p>＜出発点（H30）＞ 1.68億円 （年間）</p>	<p>＜R5年度末見込＞ — （年間）</p> <p>＜直近の実績＞ 1.86億円 （年間） 【R4年度末】</p>			
<p>来場者数</p> <p>＜目標値（R5）＞ 187,000人 （年間）</p> <p>＜出発点（H30）＞ 177,809人 （年間）</p>	<p>＜R5年度末見込＞ — （年間）</p> <p>＜直近の実績＞ 169,520人 （年間） 【R4年度末】</p>	B						



項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>13 有害鳥獣等を活用したペットフードの開発と販路開拓</p> <p>《東洋町》</p> <p>有害鳥獣であるイノシシやシカなどを活用して、食肉加工のほか町内で未利用となっている魚や野菜と組み合わせたペットフードを生産・販売するための加工施設を整備し、生産・販売体制を確立することにより、シビエ振興による地域の活性化を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎(株)熊谷ファーム</li> <li>・(株)マルキョウ</li> </ul>	商工業	<p>＜原材料の安定確保＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料となる有害鳥獣の確保に向けた仕組みの構築、事業者での有害鳥獣引き取りの開始 (R2)</li> </ul> <p>＜商品開発と販路拡大＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こうち農商工連携基金を活用した長期保存可能なペット用備蓄・防災フードの開発等 (H29)</li> <li>・イベントへの出店</li> </ul> <p>＜加工施設の整備＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存公共施設(廃校跡)を加工場として活用 (H28～29)</li> </ul>	<p>＜原材料の安定確保＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・狩猟者から事業者へ原材料が持ち込まれるようになり、製造再開に向けた検討がされた。</li> </ul> <p>＜商品開発と販路拡大＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)マルキョウの取り組み</li> <li>・(株)熊谷ファームの取り組み</li> <li>・イノシシ、シカ等の干物のペットフード8種類を開発、販売</li> </ul>	<p>売上高</p> <p>＜目標値 (R5)＞ 2,000万円 (年間)</p> <p>＜出発点 (H30)＞ 101万円 (年間)</p>	<p>＜R5年度末見込＞ — (年間)</p> <p>＜直近の実績＞ 90万円 (年間) 【R3年度末】</p>	D	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚のペットフードに関して、無添加で安心して食べられるペットフードは人気があり、よく売れている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造を中止している事業者の製造再開</li> <li>・有害鳥獣等の安定確保</li> <li>・人手不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定地域づくり事業協同組合との連携も視野に入れ、人材の確保について検討する。</li> </ul>
<p>14 地域食材を活用した奈半利町の特産品の開発及び販路拡大</p> <p>《奈半利町》</p> <p>集落活動センターが中心となり、地域食材を活用した特産品の企画・開発を促進するとともに、情報発信や販促の強化により奈半利ブランドを確立し、地域経済への波及効果の拡大を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎(一社)なはりの郷</li> <li>◎奈半利町</li> <li>◎奈半利なんでも市加工グループ</li> <li>◎NCL48</li> <li>・JA高知県(安芸地区)</li> </ul>	商工業	<p>＜地産外商の強化＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とさのさとへの出品 (R元)</li> <li>・奈半利味噌、いちじくジャム</li> <li>・「地のもん市場ハレタ(土佐市)」への出品 (R2)</li> <li>・おはようこうち「さんしんGO!」放送 (R4)</li> </ul> <p>＜運営体制の強化＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営改善計画の策定</li> <li>・うちんくのビジネス塾メンター招へい5回 (R2)</li> <li>・課題分析による時代の変化に対応できる組織づくり</li> <li>・産業振興アドバイザー招へい5回 (R3)</li> <li>・なはりの郷各部門の課題や運営に関する助言、新事業について検討</li> <li>・産業振興アドバイザー招へい14回(予定) (R5)</li> </ul> <p>＜一次産業の振興＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作放棄地を活用したいちじくの栽培 (H29～)</li> </ul>	<p>＜地産外商の強化＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはようこうちの放送により、奈半利町のいちじくをPRすることができた。</li> <li>・いちじく栽培マニュアルを作成した。</li> <li>⇒集出荷センターでのいちじく売上高の増加</li> <li>R3: 204千円</li> <li>→R4: 464千円</li> </ul> <p>＜運営体制の強化＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンター及びアドバイザーを招へいし、経営改善計画の策定、組織づくり等を行ったことにより、収支を改善することができた。</li> <li>⇒(一社)なはりの郷の収支の改善</li> </ul> <p>＜一次産業の振興＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いちじく作付面積の増</li> <li>H29: 0a→R3: 2.8a</li> <li>・加領郷フィッシュリース利用開始 (R4.6)</li> </ul>	<p>JA加工施設(奈半利味噌)の売上高</p> <p>＜目標値 (R5)＞ 912万円 (年間)</p> <p>＜出発点 (H30)＞ 677万円 (年間)</p> <p>農水産加工施設の店舗売上高</p> <p>＜目標値 (R5)＞ 900万円 (年間)</p> <p>＜出発点 (R元見込)＞ 800万円 (年間)</p> <p>集出荷センター取扱高 (7月～6月)</p> <p>＜目標値 (R5)＞ 764万円 (年間)</p> <p>＜出発点＞ 5.4億円 (R元.7月～R2.6月見込)</p>	<p>＜R5年度末見込＞ 850万円 (年間)</p> <p>＜直近の実績＞ 843万円 (年間) 【R4年度末】</p> <p>＜R5年度末見込＞ 1,800万円 (年間)</p> <p>＜直近の実績＞ 1,712万円 (年間) 【R4年度末】</p> <p>＜R5年度末見込＞ 700万円 (年間)</p> <p>＜直近の実績＞ 716万円 (年間) 【R4年度末】</p>	B	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアを活用したPRや栽培マニュアルの作成によりいちじくの売上高が増加した。</li> <li>・まるごと高知商談会やイベント等への積極的な参加により農水産加工施設の店舗売上高が大幅に増加し、R4売上高はR5目標額を大きく上回って達成している。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者の高齢化、後継者の確保</li> <li>・JAの加工施設の機械の老朽化への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いちじくの栽培方法の確立、耕作面積の拡大</li> <li>・町内事業者との連携強化、新規商品の開発、直販所間の商品交流拡大</li> </ul>

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
15 田野町の完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用 ≪田野町≫ 製塩体験施設での塩づくり体験を通じて交流人口の拡大を図るとともに、新たな就業者の育成と関連産業への波及を図る。 【実施主体】 ・◎田野町 ・民間事業者	商工業	<p>&lt;製塩体験施設の運営体制の整備と誘客増&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体験プログラムイベント「ゆずFes」(H30)</li> <li>町内ガイド組織による製塩体験施設のガイド・体験案内の実施(R元~)</li> </ul> <p>&lt;新規就業者の育成・環境整備&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>製塩体験施設の整備(H24)、オープン(H25.4)</li> <li>塩職人新規研修生2名の受入(R2)</li> <li>天日塩生産用レンタルハウスの建設(R元、R3)</li> <li>H30研修生2名の独立(R3.7)</li> </ul> <p>&lt;関連産業への波及&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町内事業者と商品開発について協議(R2~4)</li> </ul>	<p>&lt;製塩体験施設の運営体制の整備と誘客増&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育旅行の受入</li> </ul> <p>&lt;新規就業者の育成・環境整備&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修生2名の独立(R3)</li> <li>⇒町内塩職人の増加</li> <li>塩職人研修生が町外で独立したが、「田野屋」の屋号を引き継ぎ、屋号と完全天日塩の魅力を発信している。</li> </ul> <p>&lt;関連産業への波及&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町内の事業者と連携し、新たな商品を開発、販売を行った。</li> <li>⇒商品開発数 2件(R2)</li> <li>コラボ商品 3件(R4)</li> </ul>	<p>体験施設受入人数</p> <p>&lt;目標値(R5)&gt; 700人 (年間)</p> <p>&lt;出発点(H30)&gt; 269人 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; 500人 (年間)</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 460人 (年間) 【R4年度末】</p>	C	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の影響により、体験受入を一時停止していたが、R4は出発点から比較して大幅に実績を伸ばすことができた。</li> <li>塩職人の育成により天日塩の町内流通が図られた。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体験施設の受入を行う人員の不足</li> <li>体験メニューのブラッシュアップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣のガイド団体と連携し、ガイドを行う人材の確保やメニューの見直しを検討</li> <li>体験メニューのブラッシュアップについて検討</li> <li>研修生の募集</li> </ul>
				<p>塩関連での就業者数</p> <p>&lt;目標値(R5)&gt; 10人 (R2~5累計)</p> <p>&lt;出発点(H30)&gt; 2人</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; 4人 (R2~5累計)</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 4人 (R2~4累計)</p>			
16 道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取り組み ≪田野町≫ 田野駅屋の集客力を最大限に活用し、地域の特産品の直販機能や観光情報の発信機能を強化するとともに、地域農産物等を活用した加工品を開発・販売し、消費拡大を図っていく。 さらに、今後の田野駅屋のあり方について、施設整備等を含めた検討を行い、さらなる地域の活性化をめざす。 【実施主体】 ・◎道の駅指定管理者(たの未来プロジェクト)株式会社 ・◎田野町 ・加工施設指定管理者(中芸食材工房) ・生産者組織 ・地域団体	商工業	<p>&lt;機能強化のための施設等整備&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再整備に係る基礎調査(R5)</li> <li>産業振興推進総合支援事業費補助金(ステップアップ事業)</li> <li>R5:1,980千円(見込)</li> </ul> <p>&lt;直販・飲食機能の強化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町100%出資の「たの未来プロジェクト(株)」が道の駅指定管理者として運営開始(R元~)</li> </ul> <p>&lt;情報発信機能の強化・交流人口の拡大&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>GW期間中の臨時観光案内所の開設(H23~)</li> </ul> <p>&lt;加工品の開発・販売の強化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町内事業者と商品開発について協議(R2)</li> </ul>	<p>&lt;機能強化のための施設等整備&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町役場による基本構想作成(R4)</li> <li>⇒再整備に向けた町の基本構想の共有が図られた。</li> </ul> <p>&lt;直販・飲食機能の強化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商品開発、店舗レイアウトの工夫、在庫管理の徹底による商品の充実を行った。</li> <li>⇒コロナ禍でありながらも、来客者数、売上が向上した。</li> <li>R2:来客者数 229千人、売上高 2.5 億円</li> <li>→R4:来客者数 233千人、売上高 2.7億円</li> </ul> <p>&lt;情報発信機能の強化・交流人口の拡大&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>GW期間中の中芸関係機関の連携体制⇒中芸以東の観光情報の発信</li> </ul> <p>&lt;加工品の開発・販売の強化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>塩職人と連携し、新たな商品開発について協議を行った。</li> <li>⇒商品開発数1件(R2)</li> </ul>	<p>年間店舗売上高</p> <p>&lt;目標値(R5(暦年))&gt; 2.8億円 (年間)</p> <p>&lt;出発点(H30(暦年))&gt; 2.7億円 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; 2.8億円 (年間) 【R5(暦年)】</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 2.7億円 (年間) 【R4(暦年)】</p>	A	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H30と比較して一時的にコロナ禍の影響を受けたが、商品開発、レイアウトの工夫などにより、徐々に改善している。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>店舗や駐車場が狭いといったハード的な要因により、年間入込数が伸び悩んでいる。</li> <li>運営団体の高齢化により、事業規模の拡大が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>田野駅屋の再整備を検討</li> <li>住民アンケートの実施</li> <li>周辺の用地交渉による店舗、駐車場の面積拡大</li> <li>民間企業との連携も含めた運営体制の強化について検討</li> <li>導入機能の検討(観光案内機能、防災機能等)</li> </ul>
				<p>年間入込数</p> <p>&lt;目標値(R5(暦年))&gt; 300千人 (年間)</p> <p>&lt;出発点(H30(暦年))&gt; 278千人 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; 240千人 (年間) 【R5(暦年)】</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 233千人 (年間) 【R4(暦年)】</p>			

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
17 やすだ資源を生かした6次産業化事業の推進 《安田町》 安田町内の地域資源を生かした6次産業化事業に取り組み、新商品開発、販路開拓・拡大による地産外商を推進する。 【実施主体】 ・◎安田町 ・生産者 ・製造販売者	商工業	＜地域資源を生かした6次産業化事業の推進＞ ・キャンプ場指定管理者紹介のパーティシエにスイーツ開発に関して監修を依頼（R4） ・高知県事業継承・引継ぎ支援センターへ休止中の製造販売拠点について相談（R4）	＜地域資源を生かした6次産業化事業の推進＞ ・高知県事業継承・引継ぎ支援センターとの連携。 ・町所有ハウスでのマンゴーの収穫開始（R5）	地域資源を使った新商品開発 ＜目標値（R5）＞ 3件 （R2～5累計） ＜出発点（H30）＞ 0件	＜R5年度末見込＞ — （R2～5累計） ＜直近の実績＞ 0件 （R2～4累計）	D	[評価] ・H30に事業者が撤退してから、あまり動きがない事業となっている。 ・R4に、キャンプ場指定管理者紹介のパーティシエにスイーツ開発に関して監修を依頼したり、高知県事業継承・引継ぎ支援センターへ相談に行ったが、進展があったとは言えない状況である。 [課題] ・事業者の確保 ・安定した原材料の確保	・6次産業化に取り組む事業者の確保 ・「安田の白い夢」の販売再開に向けた生産体制の確立 ・新商品の開発
6次産業化参入事業者 ＜目標値（R5）＞ 2件 （R2～5累計） ＜出発点（H30）＞ 0件	＜R5年度末見込＞ — （R2～5累計） ＜直近の実績＞ 0件 （R2～4累計）	D						
18 地場産品直販所「かっぱ市」等による地域活性化 《芸西村》 地場産品直販所「かっぱ市」やロイヤルホテル土佐において、安定供給の仕組みを作るとともに、新商品開発や販路開拓等の外商活動に取り組むことにより、地場産品の消費拡大を進め、地域経済の活性化につなげる。 【実施主体】 ・◎街かっぱ市 ・大和リゾート㈱ ・芸西村 ・生産者グループ	商工業	＜魅力ある店舗づくりと顧客獲得の取り組み＞ （かっぱ市） ・6次産業化サポートセンターによる戦略会議をスタート（R2～3） ・来店者の回遊を図るため、レイアウトを変更（R2） ・琴が浜でBBQ事業を開始（R3） ・直販所間の商品交流を開始（R4～） （ロイヤルホテル土佐） ・ロイヤルホテル土佐の売店のリニューアル（R3.5） ・地域イベント「竹灯りの宵」と連携した会場づくりと新メニューの提供（R3～） ・朝食会場での白玉糖生キャラメルの提供（R4～）  ＜新商品の企画・開発及び外商活動＞ （かっぱ市） ・POPの活用による商品群の販売促進（R3） （ロイヤルホテル土佐） ・白玉糖を活用した食パンやカヌレ等の開発・販売（リゾゲット含む）（R3～） ・土佐くろしお鉄道とコラボした旅行商品の企画（R3～）	＜魅力ある店舗づくりと顧客獲得の取り組み＞ （かっぱ市） ・店内レイアウト変更等ソフト整備⇒売上向上 R2：1.4億円→R4：1.6億円 （ロイヤルホテル土佐） ・売店のリニューアルによる地域特産品の拡充（R3） ・地域イベント「竹灯りの宵」との連携による集客アップ（R3～）  ＜新商品の企画開発及び外商活動＞ ・ロイヤルホテル土佐によるサトウキビ栽培及び白玉糖を活用した商品の開発⇒白玉糖商品の充実 R3.5：食パン、シフォンケーキ、フィナンシェ等	かっぱ市売上高 ＜目標値（R5）＞ 1.5億円 （年間） ＜出発点（H30）＞ 1.4億円 （年間）	＜R5年度末見込＞ 1.62億円 （年間） ＜直近の実績＞ 1.62億円 （年間） 【R4年度末】	A	[評価] ・かっぱ市は、レイアウト変更等による店内の魅力向上や、ふるさと納税への野菜の出品により売上が増加している。 ・ロイヤルホテル土佐では白玉糖を活用した加工品や生キャラメルが好評で宿泊者増や売店の白玉糖商品の売上げアップにつながっている。 [課題] ・高規格道路延長後の交通量変化への対応 ・光熱費高騰等による収益の減少 ・ロイヤルホテル土佐の慢性的な人手不足	（かっぱ市） ・直販所間の商品交流についてのサポート ・顧客満足度の高い商品やイベントの開催を支援  （ロイヤルホテル土佐） ・ロイヤルホテル土佐は、人材不足により一部サービスを停止している状況であるため、通常のホテル運営ができるように人材確保の取り組みを強化

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性	
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価		
<p>19 安芸地域の観光振興の推進</p> <p>《安芸地域全域》</p> <p>広域観光組織の基盤を整備し、情報発信、体験プログラムの磨き上げ、教育旅行の受入等を行うとともに、歴史や食、自然の組み合わせによる観光クラスターの整備を推進することで、安芸地域外からの誘客を増加させて地域経済の活性化を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎(一社)高知県東部観光協議会</li> <li>安芸広域市町村圏事務組合</li> <li>市町村</li> <li>観光協会等</li> <li>地域団体</li> <li>民間事業者</li> </ul>	観光	<p>&lt;ひがしこうち魅力創出の推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>四国運輸局事業の活用によるインハウンド向けコンテンツの造成・磨き上げ(R2)</li> <li>土佐の観光創生塾(県事業)への参加促進によるコンテンツ造成の支援(R2~)</li> <li>ひがしこうち「食」の開発事業の実施(R3~)新グルメ「香香柚子」のPR・磨き上げ(R4)</li> <li>ひがしこうち観光タクシープランの造成(R4)</li> <li>馬路温泉の建替えについて検討 産業振興アドバイザー招へい4回(R4)</li> </ul> <p>&lt;効果的な情報発信とセールスの強化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語・繁体字版ホームページ作成(R2)</li> <li>教育旅行用セールスツール(動画・素材集)の作成(R3)</li> <li>土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線、四国の右下観光局(徳島)と連携した周遊企画実施(R4)</li> <li>宿泊者向けクーポンによる誘客促進事業「ひがしこうちでGO!GO!!おでかけクーポン券」の実施(R4)</li> </ul> <p>&lt;下支えする基盤整備の推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ひがしこうちDMO形成に向けた観光戦略ワーキンググループ会議の開催(R2)</li> <li>高知県観光地域づくり推進員の配置(R2~4)</li> <li>観光庁補助事業による二次交通情報データ整備(R3)</li> <li>観光庁実証事業による宿泊者データ収集分析システム及びCRMシステム構築(R3)運用(R4~)</li> <li>広域観光振興計画(第2期)策定(R3)</li> <li>市町村観光担当課長会議の開催(R4~)</li> <li>観光動態分析ツール(おでかけウォッチャー)を活用したデータ収集・分析(R4~)</li> <li>四国南東部広域観光連携協議会への参画(R4~)</li> </ul> <p>【活用した支援策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高知県広域観光推進事業費補助金(R2~)</li> <li>高知県広域観光需要喚起等事業費補助金(R3)</li> </ul>	<p>&lt;ひがしこうち魅力創出の推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>域内の事業者に土佐の観光創生塾への参画を促し、商品造成につながった。⇒R2:23件、R3:16件、R4:24件(年度)</li> <li>「食」の開発事業により、圏内の飲食店や宿泊施設を巻き込み、新たなメニューやプランが造成された。⇒香香柚子グルメの売上 R4:86,417千円</li> <li>地域内来訪者の二次交通不安解消のため、貸切タクシーを使用した日帰りツアーの造成を行った。⇒R4造成数:6プラン</li> </ul> <p>&lt;効果的な情報発信とセールスの強化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マスコミ、雑誌、SNSを活用した情報発信により、高知県東部の認知度向上に貢献した。⇒公式HPの閲覧数(年度累計) R2:401,083PV →R4:500,933PV</li> <li>民泊+体験からホテル+体験へと受入方法を工夫することにより、コロナ禍においても教育旅行の受入を継続した。⇒R2:7校、R3:14校、R4:18校</li> <li>四国の右下DMVフォトラリーの実施を通じ、広域的な取り組みを促進した。⇒R4.7.10~9.30参加者:44名</li> <li>市町村と連携して行った宿泊者向けクーポンにより、地域内での消費を促した。⇒R4クーポン券利用実績:44,375千円</li> </ul> <p>&lt;下支えする基盤整備の推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CRMアプリを活用したスタンプラリーの企画により、消費を促した。⇒R4年度会員数:1,108人、消費額:2,342千円</li> </ul>	<p>観光入込客数</p> <p>&lt;目標値(R5(暦年))&gt; 2,225,601人 (年間)</p> <p>&lt;出発点(R元(暦年))&gt; 2,181,964人 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; — (年間) 【R5(暦年)】</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 1,882,480人 (年間) 【R4(暦年)】</p>	C	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広域観光振興計画(第2期)に基づき、年度ごとに戦略的に取り組みを重ねるとともに、コロナ禍に対応した教育旅行の受入方法を工夫するなど、域内の体験事業等の利用の促進に貢献した。</li> <li>DMVを絡めた取り組みや四国南東部広域観光連携協議会における連携など、さらに広域的な取り組みが始まり、県外観光客の増加が期待される。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「食」の開発事業や観光創生塾におけるベットプランの造成を踏まえ、域内で連携したプランディングに取り組み始め、パンフレットの作成や公式HPでのPRなど、(一社)東部観光協議会としては情報発信しているが、個々の事業者における自発的な発信とそれに伴うエリアプランディングの拡大の動きが弱い。</li> <li>このことから、(一社)東部観光協議会が主体となり、市町村・事業者等を巻き込んで取り組みが加速していくようにマネジメント機能を発揮していくことが求められる。</li> </ul>	<p>・ひがしこうち魅力創出の推進 「体験型」「滞在型」「食」をキーワードとした観光振興</p> <p>・効果的な情報発信とセールスの強化 「近場」「着地」「2025年日本国際博覧会」「デジタル」をキーワードとしたセールス・情報発信の強化</p> <p>・下支えする基盤整備の推進 持続可能な観光地域づくりの実現に向けて、ひがしこうちならではの広域観光の推進</p>	
				<p>圏内宿泊者数</p> <p>&lt;目標値(R5(暦年))&gt; 157,632人 (年間)</p> <p>&lt;出発点(R元(暦年))&gt; 154,542人 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; — (年間) 【R5(暦年)】</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 142,884人 (年間) 【R4(暦年)】</p>				B
				<p>圏内観光消費額</p> <p>&lt;目標値(R5(暦年))&gt; 3,667,199千円 (年間)</p> <p>&lt;出発点(R元(暦年))&gt; 3,526,972千円 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; — (年間) 【R5(暦年)】</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 3,248,435千円 (年間) 【R4(暦年)】</p>				

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性	
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価		
<p>20 日本遺産を活用した中芸地域の活性化</p> <p>《奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村》</p> <p>日本遺産認定を受けた魚梁瀬森林鉄道遺産やゆずロード等を活用し、中芸地域の交流人口の拡大や文化活動の促進を図る。</p> <p>【実施主体】 ・◎中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会 ・奈半利町 ・田野町 ・安田町 ・北川村 ・馬路村 ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会</p>	観光	<p>&lt;日本遺産を活用した地域の活性化及び交流人口の拡大&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆずFeSの開催 (H29~)</li> <li>ゆず林鉄EXPO開催 (R2~)</li> <li>日本遺産協議会の組織体制の課題抽出と円滑な運営体制の構築に向けた検討</li> <li>産業振興アドバイザー招へい5回 (R2)</li> <li>「第27回全国ハープサミットin中芸」開催 (R3)</li> <li>日本遺産関連ツアーの造成 (R3~)</li> <li>ガイド養成講座の実施 (R3~:全5回講座)</li> <li>再認定に向けた協議会体制の見直し (R3~)</li> <li>住民向け無料ガイドの開催 (R4:全5回)</li> <li>アドベンチャーツアーのモニターツアー実施 (R4)</li> <li>日本遺産中芸ゆずと森林鉄道ガイド会発足 (R4)</li> </ul>	<p>&lt;日本遺産を活用した地域の活性化及び交流人口の拡大&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆずFeSの開催</li> <li>⇒参加者数 全9回のべ1,421人</li> <li>ゆず林鉄EXPOの開催</li> <li>⇒中芸地域以外での認知度向上</li> <li>来場者数 R2: 625人 R3: 1,600人 (推計) R4: 2,800人 (推計)</li> <li>ガイド養成講座の実施により、R4に「日本遺産中芸ゆずと森林鉄道ガイド会」発足</li> <li>⇒受入れ体制の充実</li> <li>ガイド登録者 R3: 11名 R4: 2名</li> <li>「第27回全国ハープサミットin中芸」の開催 (R3)</li> <li>住民向け無料ガイドの実施 (R4) ⇒42名参加 (全5回)</li> <li>アドベンチャーツアー (Eバイク使用) モニターツアー実施 (R4) ⇒新たな体験ツアーの創出 12名参加 (全2回)</li> </ul>	中芸地域主要施設訪問者数	<p>&lt;目標値 (R5)&gt; 550,000人 (年間)</p> <p>&lt;出発点 (H30)&gt; 537,560人 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; — (年間)</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 525,904人 (年間) 【R4年度末】</p>	B	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、ガイド会の発足や定期的にイベントを開催するなどして順調に施設訪問者数を伸ばしている。</li> <li>R2より開催しているゆず林鉄EXPOは年々来場者数が増加しており、ゆずFeSもH29から継続して開催し、中芸地域への訪問者数の増加に繋がる日本遺産を代表するイベントとなってきている。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>拠点施設の整備やガイド育成など受入れ体制の充実</li> <li>さらなる認知度向上や既存イベントの磨き上げ</li> <li>日本遺産再認定後の事業推進に向けた体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光創生塾等の活用による日本遺産関連商品やツアーの造成と旅行会社への売り込み</li> <li>拠点施設やガイド人材育成等による受入れ体制の強化</li> <li>訴求力あるイベント実施及び情報発信の強化</li> </ul>

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>21 室戸市の観光資源を生かした交流人口の拡大・地域振興</p> <p>《室戸市》</p> <p>世界ジオパークに認定された室戸ジオパークやむろと廃校水族館、海の駅とろむなどの観光資源の魅力度を高めるとともに、各施設の連携強化により周遊・滞在型観光への転換を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎室戸市</li> <li>◎(一社)室戸市観光協会</li> <li>室戸ジオパーク推進協議会</li> <li>㈱日本ドルフィンセンター</li> <li>(一社)うみ路</li> <li>NPO法人日本ウミガメ協議会</li> <li>土佐備長炭元炭玄</li> <li>民間事業者</li> </ul>	観光	<p>&lt;周遊型・滞在型観光の強化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNSを活用した情報発信</li> <li>地域おこし協力隊の募集・雇用</li> <li>県観光アドバイザーによる観光勉強会の実施 (R2.10、R3.8)</li> <li>MUROTOくじらリー (R2~)、デジタル技術 (AR) を活用したスタンプラリー「イルカと室戸と私」などの周遊キャンペーンの実施 (R4)</li> </ul>	<p>&lt;周遊型・滞在型観光の強化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域おこし協力隊の雇用などに積極的に取り組めた。</li> <li>市内観光プログラムの造成</li> <li>地域おこし協力隊の雇用 R2~5 (累計) : 6人</li> </ul>	<p>室戸市主要施設訪問者数</p> <p>&lt;目標値 (R5) (暦年)&gt; 850千人 (年間)</p> <p>&lt;出発点 (H30) (暦年)&gt; 805千人 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; — (年間) 【R5 (暦年)】</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 505千人 (年間) 【R4年 (暦年)】</p>	D	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍のため苦戦したが、感染状況に応じてイベントを実施するなどして、観光客誘致に取り組むことができた。</li> <li>地域おこし協力隊を積極的に雇用し、観光振興に取り組むことができています。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各施設・観光資源の密な周遊・連携体制ができていないことで、長期滞在を促せていない。</li> <li>イベントやキャンペーンを実施する際の情報発信不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サステナブルツーリズムやウェルネスツーリズムなどの新たな考え方を取り入れた周遊・滞在型観光 (観光振興計画等の策定を含む) に係る検討</li> <li>地域おこし協力隊の積極的な雇用</li> <li>飛竜荘 (旧観光案内所) の利活用</li> <li>土産品の開発</li> <li>担い手確保に関する仕組み作り</li> </ul>
		<p>&lt;誘客促進 (室戸世界ジオパーク)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本ジオパークネットワークによる事前調査の受け入れ (R4.8)</li> <li>ジオガイド養成講座の実施</li> <li>企画展・イベントなどの実施</li> <li>教育旅行の受け入れ (ジオガイド、ジオパークセンター、サイクリングなど)</li> </ul>	<p>&lt;誘客促進 (室戸世界ジオパーク)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジオガイド養成講座の実施により、ガイド確保に取り組むことができた。</li> <li>⇒参加者数 のべ29名 (R4)</li> </ul>	<p>室戸世界ジオパークセンター来館者数</p> <p>&lt;目標値 (R5)&gt; 90,000人 (年間)</p> <p>&lt;出発点 (H30)&gt; 87,318人 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; — (年間)</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 59,159人 (年間) 【R4年度末】</p>	D	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユネスコ世界ジオパークであることを生かした教育旅行の受け入れを活発に行うことができています。</li> <li>企画展やイベントを年数回実施することにより、誘客やジオパークのPRを行うことができています。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジオパークセンターへの来場者数の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界ジオパーク認定審査等で指摘されている施設改修</li> <li>積極的な教育旅行の受け入れ</li> <li>企画展・イベント等の実施</li> </ul>
		<p>&lt;誘客促進 (海の駅とろむ)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DMV乗り入れ開始 (R3.12~)</li> </ul> <p>(室戸ドルフィンセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNSを活用した情報発信</li> <li>障害児を対象としたプログラム実施のためのクラウドファンディングを実施 (R3、R4)</li> <li>キッチンカー導入 (R3)</li> <li>観光施設等緊急整備事業費補助金 R2~3 : 7,793千円</li> <li>「室戸市応援キャンペーン」の実施 (R3~)</li> </ul> <p>&lt;飲食体験施設&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>飲食体験施設「空玄」がオープン (R4.8)</li> <li>鯉の薫焼き体験受け入れを限定的に再開 (R4)</li> <li>宿泊用インスタントハウスの設置 (R5)</li> </ul>	<p>&lt;誘客促進 (海の駅とろむ)&gt;</p> <p>(室戸ドルフィンセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クラウドファンディングでは2年連続で目標金額の100万円を達成するなど、活動のPRと資金確保に積極的に取り組むことができています。</li> <li>室戸市応援キャンペーンを通じて、周辺事業者との連携が図られている。</li> <li>⇒連携事業者数 R2 : 27店舗 → R3 : 15店舗 → R4 : 15店舗</li> <li>キッチンカーの商品に室戸市内の食材を採用するなど、地元産品のPRと地産地消に取り組むことができています。</li> </ul> <p>&lt;飲食体験施設&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オープンすることにより、DMV乗降客に飲食物を提供することが可能となった。</li> <li>試験的に鯉の薫焼き体験で修学旅行生を受け入れるなど、活動の幅を広げている。</li> </ul>	<p>室戸ドルフィンセンター来場者数</p> <p>&lt;目標値 (R5)&gt; 30,000人 (年間)</p> <p>&lt;出発点 (H30)&gt; 27,693人 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; — (年間)</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 16,433人 (年間) 【R4年度末】</p>	D	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナの影響を受け、海の駅とろむの飲食体験施設および市場部門がR3.3に閉業に追い込まれたが、R4.8には飲食体験施設を再開することができ、DMV観光客等の受け入れを行うことができています。</li> <li>ドルフィンセンターについても新型コロナの影響は深刻だったが、周遊を促すキャンペーンを実施したり、客単価を上げることに成功している。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両施設とも来場者数の増加</li> <li>室戸岬漁港施設全体の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鯉の薫焼き体験の本格再開やインスタントハウスを活用した宿泊事業の展開</li> <li>(飲食体験施設)</li> <li>周辺事業者との連携</li> <li>情報発信の強化</li> <li>(ドルフィンセンター)</li> <li>イベントの実施</li> <li>集客策の検討</li> </ul>
		<p>&lt;誘客促進 (むろと廃校水族館)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「あなたのシイラない魚介」、「サバらしい日々」といった周遊飲食キャンペーンやその他イベント等の実施 (H30~)</li> <li>屋外プールへの日除設置 (R2)</li> <li>観光拠点等整備事業費補助金 R元~2 : 33,355千円</li> <li>DMV乗り入れ開始 (R4.7~)</li> <li>イベント催事等での出張ブリくじの実施</li> <li>国立室戸青少年自然の家と連携・協力協定を締結 (R4.11)</li> <li>SNSを活用した情報発信</li> </ul>	<p>&lt;誘客促進 (むろと廃校水族館)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>周遊飲食キャンペーンを通じて、自施設だけでなく周辺事業者にも波及効果をもたらすことができています。</li> <li>⇒「サバらしい日々」連携事業者数 R2 : 28者 → R3 : 13者 → R4 : 13者</li> <li>教育旅行や視察等を積極的に受け入れ、来場者数を伸ばすことができています。</li> </ul>	<p>むろと廃校水族館来館者数</p> <p>&lt;目標値 (R5)&gt; 121,200人 (年間)</p> <p>&lt;出発点 (H30)&gt; 168,333人 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; — (年間)</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 90,968人 (年間) 【R4年度末】</p>	C	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H30にオープンして以降、室戸市観光の中心となっており、周辺事業者にとっても良い影響を与えることができています。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取水施設の整備</li> <li>バリアフリーへの対応</li> <li>体育館・屋上の利活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺事業者への周遊を促すイベントの継続</li> <li>施設の整備・改修</li> <li>体育館・屋上の利活用に係る検討</li> </ul>
		<p>&lt;誘客促進 (MUROTObase55 (旧ライダースイン室戸))&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>MUROTObase55オープン (R2.2)</li> <li>SNSを活用した情報発信</li> <li>市内事業者との連携</li> <li>新プランの造成</li> <li>コンテナ棟への洗面台・トイレの設置、屋外風呂、テントサウナの整備 (R3)</li> <li>観光施設等緊急整備事業費補助金 R2~3 : 21,156千円</li> </ul>	<p>&lt;誘客促進 (MUROTObase55 (旧ライダースイン室戸))&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新プランの造成を通じて、新たな誘客に取り組んでいる。</li> <li>⇒プラン開発数 : 3件 (R2~5)</li> <li>市内事業者と連携したプログラム実施などにより、周辺事業者への波及効果にもつながっている。</li> </ul>	<p>MUROTObase55 (旧ライダースイン室戸) 利用者数</p> <p>&lt;目標値 (R5)&gt; 6,000人 (年間)</p> <p>&lt;出発点&gt; — (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; — (年間)</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 4,769人 (年間) 【R4年度末】</p>	C	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オープン直後コロナ禍に突入し、厳しい状況であったが、アウトドアブームや新プランの造成により、徐々に来客数を伸ばすことができています。</li> <li>またYouTuberと連携した動画作成など、情報発信にも工夫が見られる。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雨天時の対応</li> <li>設備の維持管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨天時の対応に係る検討、施設整備</li> <li>情報発信の強化</li> <li>新プランの造成</li> </ul>

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>22 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進</p> <p>《安芸市》</p> <p>既存の観光資源の磨き上げや自然・歴史文化等の地域資源を活用した新たな体験プログラムの造成、地域食材を活用したメニューや商品の開発等により地域ブランド力及び観光客の満足度の向上を図り、交流人口の拡大及び観光関連産業の活性化につなげる。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎安芸市</li> <li>◎(一社)安芸市観光協会</li> <li>安芸漁協</li> <li>伊尾木あなごう保存会</li> <li>内原野陶芸館</li> <li>JA高知県(安芸地区)</li> <li>安芸市観光ボランティアガイドの会</li> <li>廊中ふるさと館</li> <li>メリーガーデン</li> <li>はたやま夢楽</li> <li>安芸「釜あげちりめん丼」楽会</li> <li>道の駅大山</li> <li>安芸商工会議所</li> <li>「はばたけ彌太郎」安芸市推進委員会</li> </ul>	観光	<p>＜岩崎弥太郎を生かした安芸市観光の活性化＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岩崎家ゆかりの地である安芸市と県外3市区町との間で広域文化観光協議会を設立(H30)</li> <li>安芸観光情報センターをリニューアルし、VR映像シアターを整備(R元)</li> <li>宿泊客向けクーポン事業実施(R4)</li> </ul> <p>＜地域食材等を活用した誘客の推進＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安芸「釜あげちりめん丼」楽会実行委員会によるイベントへの出店等PR活動(H22～)</li> <li>PR動画(じゃこ部門)の作成及びYouTube発信(R3～)</li> <li>「安芸市施設園芸消費拡大委員会」のホームページ等への掲載によるPR</li> <li>ナス料理店マップ(R元～R4)</li> <li>ナスレシビ動画(R2～R4)</li> <li>なすスタンプラリー開催(R2、R4)</li> </ul> <p>＜観光資源の魅力向上＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊尾木洞観光案内所等の整備(H30)</li> <li>伊尾木洞を訪れる観光客を対象としたビジネスプランの策定</li> <li>産業振興アドバイザー招へい5回(R2)</li> <li>古材や古物を活かした家具の開発及び地域の空き家をリノベーションしたホテル事業の構想策定</li> <li>産業振興アドバイザー招へい2回(R2)</li> <li>産業振興推進総合支援事業費補助金(ステップアップ事業)</li> <li>R2: 155千円</li> <li>安芸駅ちばさん市場の課題洗い出しと対策案の検討</li> <li>産業振興アドバイザー招へい5回(R3)</li> <li>PR動画(観光部門)の作成及びYouTube発信(R3～)</li> <li>伊尾木洞駐車場拡大整備(R4)</li> <li>伊尾木洞ライブカメラや観光看板の整備及び草花ガイド養成講座によるガイドメニューのブラッシュアップ実施</li> <li>博覧会受入環境等整備支援事業</li> <li>R4: 1,406千円</li> <li>道の駅大山改修工事(R4～R5)</li> <li>道の駅大山周辺観光振興計画策定(R4)</li> </ul>	<p>＜岩崎弥太郎を生かした安芸市観光の活性化＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岩崎家ゆかりの地である県外3市区町との連携により、直販所等での商品交流や現地に赴いた販売が開始され、外貨獲得やPR促進につながった。</li> </ul> <p>＜地域食材等を活用した誘客の推進＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大に伴うイベント数の減少はあったものの、状況に応じた出店を行い、活動を継続することができた。</li> <li>地域食材を活用した動画発信やHPでの店舗情報掲載・スタンプラリーによりPRを図ることができた。</li> </ul> <p>＜観光資源の魅力向上＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊尾木洞への観光案内所やトイレ及び駐車場等の整備により、利便性が向上した。</li> <li>草花ガイド養成講座を活用したガイドメニューのブラッシュアップにより観光客の満足度向上を図ることができた。</li> <li>観光スポットを紹介する動画の発信によりPRを図ることができた。</li> </ul>	<p>市内年間観光客数</p> <p>＜目標値(R5)＞ 300,000人 (年間)</p> <p>＜出発点(H30)＞ 278,442人 (年間)</p>	<p>＜R5年度末見込＞ — (年間)</p> <p>＜直近の実績＞ 174,399人 (年間) 【R4年度末】</p>	D	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安芸観光情報センターは、R2年度のリニューアルによりコロナ禍においても来場者数は前年度より増加した。</li> <li>宿泊客向けクーポン事業の実施や公共事業関連の宿泊者の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の収束等により宿泊者数が増加した。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>NHK連続テレビ小説「らんまん」放送終了後も継続した観光客の呼び込み</li> <li>市内周遊観光の促進及び滞在時間の延長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光情報センターを拠点とした市内周遊の推進</li> <li>道の駅大山周辺観光振興計画に基づく観光資源の磨き上げ</li> </ul>
				<p>市内年間宿泊者数</p> <p>＜目標値(R5)＞ 26,500人 (年間)</p> <p>＜出発点(H30)＞ 25,726人 (年間)</p>	<p>＜R5年度末見込＞ — (年間)</p> <p>＜直近の実績＞ 30,512人 (年間) 【R4年度末】</p>			
				<p>ちりめん丼販売食数</p> <p>＜目標値(R5)＞ 50,000食 (年間)</p> <p>＜出発点(H30)＞ 46,872食 (年間)</p>	<p>＜R5年度末見込＞ — (年間)</p> <p>＜直近の実績＞ 30,439食 (年間) 【R4年度末】</p>	D	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>NHK連続テレビ小説「らんまん」の撮影地となり注目を集めている伊尾木洞周辺の環境整備等により、利便性が向上し、観光客の満足度向上を図ることができた。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>飲食店や土産物屋等、観光消費につながる施設の不足</li> </ul>	

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>23 東洋町における体験型・滞在型観光の推進</p> <p>《室戸市、東洋町》</p> <p>サーフィンやダイビングを中心としたマリンスポーツやDMV（デュアル・モード・ビークル）、野根川といった地域資源を生かした体験型観光メニューの充実、周遊プランの造成など、観光客の受け入れ体制の強化に取り組むことにより、滞在時間の延長及び誘客促進を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎(一社)東洋町観光振興協会</li> <li>◎東洋町</li> <li>地元マリンスポーツ等関係事業者</li> <li>宿泊事業者</li> <li>阿佐海岸鉄道(株)</li> <li>東洋町商工会</li> <li>NPO法人ウォーターズ・リバイタルプロジェクト</li> <li>(一社)高知県東部観光協議会</li> <li>室戸市</li> </ul>	観光	<p>&lt;(一社)東洋町観光振興協会の体制強化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(一社)東洋町観光振興協会の設立 (R元)</li> <li>・事務局長の設置 (R4)</li> </ul> <p>&lt;受け入れ体制の強化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海上アスレチック導入等 (H30~R3)</li> <li>観光拠点等整備事業費補助金 H30~R3: 15,480千円</li> <li>・野根川キャンプ場整備 (R3)</li> <li>観光施設等緊急整備事業費補助金 R2~R3: 14,096千円</li> <li>・ジャンボスライダー導入 (R3)</li> <li>観光振興推進総合支援事業費補助金 R3: 1,909千円</li> <li>・ビーチホッピング事業 (R元~)</li> <li>・清流の里野根川オートキャンプ場オープン (R4)</li> </ul> <p>&lt;DMVを活用した観光振興&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興アドバイザー活用。DMVを活用した観光コンテンツ開発、プロモーションの実施計画を策定 (R元)</li> <li>・シェアサイクルPiPPA整備 (R3)</li> <li>・DMV運行開始 (R3.12.25)</li> <li>・東洋町・海陽町をフィールドとした阿佐海岸鉄道主催ウォーキングイベント開催 (R4)</li> <li>・DMV 1周年記念イベントの開催 (R4)</li> </ul> <p>&lt;野根川を活用した観光振興&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生推進交付金を活用した、野根川の自然をテーマとした地域活性化施策を実施 (H28~)</li> <li>・南四国アイランド活性化協議会 (東洋町・海陽町) の設立 (R2)</li> <li>・フランスバス地方との交流 (R2)</li> <li>・清流の里野根川オートキャンプ場オープン (R4)</li> </ul>	<p>&lt;(一社)東洋町観光振興協会の体制強化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局長の設置 ⇒業務の効率化</li> </ul> <p>&lt;受け入れ体制の強化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビーチホッピング事業の開始 ⇒体験者数の増加</li> <li>R元: 2,945人 → R2: 2,878人 → R3: 2,104人 → R4: 4,835人</li> </ul> <p>&lt;DMVを活用した観光振興&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海陽町と東洋町を行き来できるシェアサイクルPiPPAの整備や、ウォーキングイベントなど、県をまたいだ観光に取り組むことができた。</li> <li>⇒近隣市町村との連携促進</li> </ul> <p>&lt;野根川を活用した観光振興&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野根川を中心とした観光資源の掘り起こしと、海陽町との連携につながった。</li> <li>⇒近隣市町村との連携促進</li> <li>・野根川オートキャンプ場オープンにより、新たな客層の獲得につながった。また、キャンプ場をきっかけとした新たな観光資源の掘り起こしも期待できる。</li> <li>⇒野根川オートキャンプ場利用者: 782人 (R4)</li> </ul>	<p>体験者数</p> <p>&lt;目標値 (R5)&gt; 5,000人 (年間)</p> <p>&lt;出発点 (H30)&gt; 465人 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; — (年間)</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 5,407人 (年間) 【R4年度末】</p>	A	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R元にスタートしたビーチホッピング事業は、東洋町の夏の風物詩として定着しつつあり、体験者も増加している。海上に浮かべているアスレチックは天候や高波の影響を大きく受けることから、波の影響を受けないジャンボスライダーを砂浜に設置する工夫をし (R3)、体験者数の増加を目指している。</li> <li>・野根川オートキャンプ場について、小規模なキャンプ場であるが、利用者からの評判もよく、利用者数が増加している。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験プログラムの造成や売り込みの強化</li> <li>・年間通して体験者の見込める体験プログラムの開発</li> <li>・PR活動の強化</li> <li>・関係団体、近隣自治体との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビーチホッピング事業および、野根川オートキャンプ場の広報強化</li> <li>・新たな観光資源の発掘と、体験プログラムの検討</li> <li>・周辺市町村との連携</li> <li>・イベントなどへの積極的な参加による東洋町のPR活動の継続</li> </ul>
				<p>東洋町主要施設 訪問者数</p> <p>&lt;目標値 (R5(暦年))&gt; 250,000人 (年間)</p> <p>&lt;出発点 (H30(暦年))&gt; 231,780人 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; — (年間)</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 270,338人 (年間) 【R4年(暦年)】</p>			



項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>24 奈半利町の観光施設の誘客強化による交流人口の拡大</p> <p>&lt;&lt;奈半利町&gt;&gt;</p> <p>藤村製絲記念館、海浜センター、米ヶ岡生活体験学校などの観光施設の誘客強化により、交流人口の拡大を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎(一社)なはりの郷</li> <li>◎奈半利町</li> <li>藤村製糸(株)</li> </ul>	観光	<p>&lt;藤村製絲記念館の活用拡大&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なはり古民家・廃校 ART&amp;LIVE2022を開催 (R4)</li> </ul> <p>&lt;海浜センターの機能強化、体験型観光の推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈半利町観光基本構想の策定 (R元)</li> <li>・奈半利町観光基本計画・基本設計の策定 (R2)</li> <li>地域観光振興交付金 R2: 2,682千円</li> <li>・奈半利町海浜センターの改修及びキャンプサイトの整備 (R3)</li> <li>地域観光振興交付金 R3: 9,594千円</li> </ul> <p>&lt;米ヶ岡生活体験学校の体験型観光の推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なはり里山フェスの開催 (H30~)</li> </ul>	<p>&lt;藤村製絲記念館の活用拡大&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの開催により、記念館の歴史などをPRできた。</li> <li>⇒来館者数の増加 R2: 626人→R4: 1,078人</li> </ul> <p>&lt;海浜センターの機能強化、体験型観光の推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光基本構想、基本計画、基本設計の策定により、海浜センターの新たな体験メニューを開発することができた。</li> <li>⇒利用者数の増加 R2: 361人→R4: 669人</li> </ul>	<p>記念館来館者数</p> <p>&lt;目標値 (R5) (暦年)&gt; 1,500人 (年間)</p> <p>&lt;出発点 (H30) (暦年)&gt; 1,000人 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; 1,100人 (年間) 【R5(暦年)】</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 1,078人 【R4(暦年)】</p>	C	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により2年間中止していたイベントを開催し、町全体を巻き込んだ企画を実行することができた。</li> <li>・観光基本構想、基本計画、基本設計の策定及び観光戦略会議の設置により、町の資源を活用する体制づくりを進めることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AP14とAP24を統合し、各部門の課題の整理、今後の方向性などを検討</li> <li>・海浜センターの運営体制をさらに充実させることを検討</li> <li>・海浜センター、町内の合宿施設、廃校を活用した事業を検討</li> </ul>
<p>海浜センター利用客数</p> <p>&lt;目標値 (R5) &gt; 2,000人 (年間)</p> <p>&lt;出発点 (H30) &gt; 562人 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; 650人 (年間)</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 669人 (年間) 【R4年度末】</p>	D	<p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの高齢化により、事業を拡大していくことが困難</li> <li>・海浜センター所長の不在により、従来の予約数を受け入れることができなくなっている。</li> </ul>					
<p>25 安田川アユおどる清流キャンプ場の再整備による交流人口の拡大と地域の活性化</p> <p>&lt;&lt;安田町&gt;&gt;</p> <p>安田町の自然・体験型観光の拠点施設としてキャンプ場を再整備し、安田川をはじめとする地域資源を活用したアクティビティの強化や季節毎に特色あるイベントの開催、情報発信や施設の管理運営手法の見直しなどを行い、利用客数の大幅な増加を目指すほか、キャンプ場利用者への周辺施設への誘客や地域食材の活用を推進し、交流人口の拡大と地域の活性化につなげる。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎安田町</li> </ul>	観光	<p>&lt;キャンプ場の再整備による磨き上げ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプ場改修工事実施</li> <li>地域観光振興交付金 R2: 35,000千円</li> <li>・キャンプ場設置及び管理に関する条例の制定 (R2)</li> <li>・キャンプ場リニューアルオープン (R3,4)</li> </ul> <p>&lt;利用客数アップに向けた仕組みづくり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本遺産関連イベント「ゆずFeS」の体験プログラムとしてキャンプ場で体験メニューを実施</li> <li>田中ケンのオージービーフ BBQ講座 (R3)</li> <li>・専用HPの立ち上げ・パンフレット刷新 (R3)</li> <li>・味工房じねんとの連携に向けた協議 (R3~)</li> <li>・コールマンパートナーフィールドイベントの開催 (R3~)</li> <li>・Xmasイベントの開催 (R3~)</li> <li>・スカイアンドシー・ムロトとの商談 →商談成立し、店頭で「金目鯛のコンフィ」を販売</li> <li>・三谷ミートとの商談 →商談成立し、R5夏からBBQ用肉の店頭販売開始予定</li> </ul>	<p>&lt;キャンプ場の再整備による磨き上げ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプ場の再整備とともに、アウトドア専門家による施設の管理・運営手法を導入したことにより、顧客サービスの向上を図ることができた。</li> <li>⇒キャンプ場利用者数の増加 R元: 3,201人→R4: 7,607人</li> <li>⇒雇用の創出 1名 (安田町内より)</li> <li>その他、繁忙期には地域住民や大学生をアルバイトとして雇用</li> </ul> <p>&lt;利用客数アップに向けた仕組みづくり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ゆずFes」の体験プログラム実施 ⇒R3: 10組22名の参加</li> </ul>	<p>キャンプ場利用者数</p> <p>&lt;目標値 (R5) &gt; 8,000人 (年間)</p> <p>&lt;出発点 (H30) &gt; 2,527人 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; — (年間)</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 7,607人 (年間) 【R4年度末】</p>	B	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リニューアルオープンに加え、コロナ禍によるキャンプブームが追い風となり、利用客数が増加し、安田町を代表する施設となっている。</li> <li>・イベントの開催や地域イベントへの参加により、利用客数を維持している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺観光施設等との連携による相互誘客の仕組みづくり</li> <li>・周辺施設との連携による地域食材の提供</li> <li>・定期的なイベントの開催や体験メニューの作成による集客力アップ</li> </ul>
<p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺観光施設等との連携による相互誘客の仕組みの構築</li> <li>・安田町内の周辺施設との連携による地域への経済波及効果の創出</li> <li>・冬期開催等の定期的なイベントによる利用客数の維持</li> </ul>								

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>26 北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大</p> <p>《北川村》</p> <p>北川村「モネの庭」マルモッタン、北川村温泉及び中岡慎太郎関連施設の北川村観光3施設に関する情報発信の強化、施設間の連携、北川村温泉周辺の住民組織と連携した体験プログラムの造成などに取り組むことにより、集客力を高め、交流人口の拡大を図る。</p> <p>【事業主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎(株)きたがわジャルダン</li> <li>◎北川村</li> <li>北川村観光協会</li> <li>北川村中部地区集落活動協議会</li> <li>NPO法人中岡慎太郎先生顕彰会</li> </ul>	観光	<p>&lt;村外に向けた観光情報等の発信強化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北川村ゆず新聞の発行計9回 (R2~)</li> <li>※創刊 H30.12~12回</li> <li>きたがわむらマップの更新 (R4)</li> </ul> <p>&lt;3施設及び関係機関との連携強化と各施設の磨き上げ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>光の庭をポルティゲラの庭に整備</li> <li>観光拠点等整備事業費補助金 (R元)</li> <li>観光客の村内施設・飲食店等の周遊促進企画である慎太郎バスポート事業の開催 (R2~)</li> <li>トイレ改修や空気清浄機の設置等の感染症対策の実施 (R2~3)</li> <li>観光施設等緊急整備事業費補助金 R2~3 : 3,813千円</li> <li>各施設でのイベントや特別展の開催</li> </ul> <p>&lt;集客に向けた取り組みの強化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北川村小島周辺整備クラスター協議会発足 (R元)</li> <li>観光創生塾の受講 (R2, R4)</li> </ul>	<p>&lt;村外に向けた観光情報等の発信強化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1弾慎太郎バスポート配布冊数746冊、応募件数379件</li> <li>第2弾慎太郎バスポート配布冊数1478冊、応募件数29件</li> <li>観光創生塾受講による観光商品の造成2件</li> </ul> <p>⇒各施設入園者数の増加</p> <p>H30 : 94,350人 → R4 : 110,164人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モネの庭にて、入園料を徴収しはじめたH15年以降初めて入園者数8万人台を記録 (R4)</li> </ul>	<p>各施設入園(館)者合計数</p> <p>&lt;目標値 (R5)&gt; 108,000人 (年間)</p> <p>&lt;出発点 (H30)&gt; 94,350人 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; — (年間)</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 110,164人 [R4年度末]</p>	A	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R2~3はコロナウイルス感染症の影響を受け、全体の入込客数は各年度の目標値に届かなかったが、R4については、特にモネの庭で入園者数が増加し、目標を大きく上回った。</li> <li>慎太郎バスポート企画では、R3の応募件数が379件、R4の応募件数が29件と、観光客の村内周遊に一定の効果を生んだと考えられる。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>慎太郎バスポート企画にて、達成条件のハードルがあがったことによるバスポート応募件数の減少</li> <li>モネの庭では入園者が増えているが、中岡慎太郎館や北川村温泉ではコロナ禍前の水準に戻りきっていない。</li> <li>モネの庭施設全体の老朽化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>慎太郎バスポートの応募条件の見直しにより応募件数の増加を狙う。</li> <li>モネの庭・北川村温泉の指定管理者(株)ジャルダンと、中岡慎太郎館の指定管理者中岡慎太郎先生顕彰会の連携の強化</li> <li>モネの庭修繕計画策定の検討</li> </ul>
<p>27 椎名集落活動センターたのしいなを拠点とした室戸市椎名地区の活性化</p> <p>《室戸市》</p> <p>地域住民が主体となり、集落活動センターの運営を行い、地域・観光資源を生かして、交流人口の拡大を図るなど、地域振興の推進を目指す。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎室戸市</li> <li>◎椎名集落活動センターたのしいな運営委員会</li> <li>地域住民団体 (椎名常会)</li> <li>椎名大敷組合</li> <li>民間事業者</li> </ul>	その他	<p>&lt;集落活動センターの取り組みの充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域おこし協力隊の確保 (R3.12~)</li> <li>ちいさな海のカフェ 月1回開催</li> <li>百歳体操 月2回開催</li> <li>ピザづくり講習会 月1回開催</li> <li>たのしいな文化祭 開催 (毎年11月)</li> <li>お魚祭り 開催</li> <li>おせったいコーヒー事業 開始 (R5.5~)</li> </ul> <p>&lt;経済的自立に向けた取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>青空市出店募集</li> <li>カフェ、ピザづくり講習会</li> <li>ふるさとえいもん集マルシェへの出店</li> <li>イベントの企画・実施</li> <li>各種体験メニューの受け入れ</li> <li>加工品開発</li> <li>SNSや「たのしいな通信」を活用した情報発信</li> </ul>	<p>&lt;集落活動センターの取り組みの充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナ感染拡大に伴いイベント等を中止するときもあったが、コロナ禍でも活動を継続して行うことができた。</li> </ul> <p>&lt;経済的自立に向けた取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさとえいもん集マルシェへの出店を通して、活動のPR、外貨獲得につなげることができた。</li> <li>⇒集マルシェへの出店回数 延べ4回 (R4末時点)</li> <li>イベント実施や体験メニュー受け入れを通じて、県内外の観光客を集客することができた。</li> </ul>	<p>集落活動センター利用者数</p> <p>&lt;目標値 (R5)&gt; 7,500人 (年間)</p> <p>&lt;出発点 (H30)&gt; 6,715人 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; — (年間)</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 1,975人 (年間) [R4年度末]</p>	D	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R2からコロナ禍に突入し、あらゆる活動に制限を受けたが、そのような状況においても、活動を止めることなく、関係人口の拡大に取り組むことができた。</li> <li>新たな体験メニューの開発や食品販売、また催事への出店など、経済活動にも積極的に取り組むことができています。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集落全体の高齢化とそれに伴う活動メンバーの固定化が進んでいる。</li> <li>むろと廃校水族館に隣接しているという好立地にもかかわらず、施設(特にキッチン)の有効活用ができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験メニューの開発、受け入れ</li> <li>イベントの企画、実施</li> <li>催事への出店</li> <li>施設の有効活用に関する検討</li> </ul>
				<p>交流イベント開催数</p> <p>&lt;目標値 (R5)&gt; 200回 (年間)</p> <p>&lt;出発点 (H30)&gt; 96回 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; — (年間)</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 196回 (年間) [R4年度末]</p>	B		

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>28 集落活動センターなかやまを拠点とした安田町中山地区の活性化</p> <p>《安田町》</p> <p>地区住民が主体となり、安田ふるさと応援隊と協力して集落活動センターの運営を行い、地域資源である自然薯の生産拡大に取り組むとともに、地域の観光資源を活用して交流人口の拡大を図るなど、中山地区を元気にする取り組みを推進する。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎中山を元気にする会</li> <li>安田町</li> <li>中山合同女性部</li> <li>味工房じねん</li> <li>自然薯生産組合</li> <li>安田川漁協</li> </ul>	その他	<p>&lt;旧中山小中学校を活用した多機能総合拠点施設の整備及び運営&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旧中山小中学校改修工事実施 (R3)</li> <li>映像村の管理及び広報活動 (R4)</li> </ul> <p>&lt;経済的自立に向けた取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耕作放棄地を活用した自然薯の栽培 (H26~)</li> <li>自然薯を使用した加工品の試作販売 (H30~)</li> </ul> <p>&lt;集落活動センターの取り組みの継続及び発展&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カフェよってん屋の開催 (H26~)</li> <li>自然薯直売会の実施 (R2~: コロナの影響により山芋まつりが中止となったための代替イベント)</li> <li>おもてなしの水辺創成事業 (R2~)</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策指導の実施</li> </ul> <p>中山間地域振興アドバイザー招へい1回 (R2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アクリル板等の導入</li> </ul> <p>新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金</p> <p>R2: 105,220円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リモート環境整備のためのパソコン導入</li> </ul> <p>集落活動センター推進事業費補助金</p> <p>R3: 107,850円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本遺産関連イベント「ゆずFes」の体験プログラムとして体験メニューを実施</li> </ul> <p>R4: アユ釣り体験</p>	<p>&lt;旧中山小中学校を活用した多機能総合拠点施設の整備及び運営&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>映像村紹介動画のYouTubeへのアップ (R4)</li> <li>映像村パンフレットの完成 (R4)</li> </ul> <p>⇒町内、周辺市町村等へ配布。東京事務所や大阪事務所へも発送。</p> <p>&lt;経済的自立に向けた取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然薯の植え付けから収穫までの作業実施</li> </ul> <p>&lt;集落活動センターの取り組みの継続及び発展&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>よってん屋の開催</li> </ul> <p>⇒地域の憩いの場の創出</p> <p>R3: 4回開催</p> <p>R4: 3回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナの影響で中止となった山芋まつりの代替イベントではあるものの、自然薯直売会を実施したことにより、集活の取り組みの継続ができた。</li> </ul> <p>⇒収入の維持</p> <p>売上 R2: 374,125円 (2日間)</p> <p>R3: 144,030円</p> <p>R4: 109,780円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆずFesの体験プログラムに参加したことにより、集落活動センターの新たな取り組みに繋がった。</li> </ul> <p>⇒4名参加 (R4)</p>	<p>交流人口</p> <p>&lt;目標値 (R5)&gt; 8,000人 (年間)</p> <p>&lt;出発点 (H30)&gt; 5,163人 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; — (年間)</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 7,607人 (年間) 【R4年度末】</p>	B	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>祭りの中止など新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、祭りの代替イベントの開催やテイクアウトのみでカフェを開催するなどの工夫を行いながら、活動を続けてきた事業である。</li> <li>既存の活動の継続だけでなく、アユの釣り体験やゆず搾り体験を実施し、新たなことにも挑戦している。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>映像村の活用に向けたPR方法の検討</li> <li>自然薯の種芋栽培に係る方向性の検討</li> <li>自然薯の安定的な栽培や栽培技術の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市圏等に向けての映像村のPR活動実施</li> <li>農振センターやJAとの連携による自然薯の栽培方法の確立及び種芋栽培に係る方向性の検討。</li> <li>自然薯を活用した商品の開発及び販路拡大</li> <li>よってん屋や山芋まつり等の現在の取り組みの継続</li> <li>体験メニューの提供</li> </ul>
			<p>集落活動センター利用者数</p> <p>&lt;目標値 (R5)&gt; 5,000人 (年間)</p> <p>&lt;出発点 (H30)&gt; 3,308人 (年間)</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; — (年間)</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 2,584人 (年間) 【R4年度末】</p>	D			

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>29 集落活動センターやなせを拠点とした馬路村魚梁瀬地区の活性化</p> <p>≪馬路村≫</p> <p>集落活動センターやなせを拠点に魚梁瀬地区が一体となって、地区の特色ある取り組みを継続・発展させ、地区の活力・やりがいと雇用の場を創出することを目標とした事業を展開する。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎集落活動センターやなせ運営協議会</li> <li>馬路村</li> </ul>	その他	<p>&lt;地域資源を活用した新事業の展開&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ワサビ」、「シキミ・サカキ」、「木のお酒」、「木質バイオマス」等の新産業候補の研究及び検討（H28～）</li> <li>・高知ふるさと応援隊による「ダム湖SUP」、「ダム見学ツアー」等の地域資源を活用した観光メニューの開発、実施（H29～）</li> <li>・観光拠点等整備事業費補助金を活用し、魚梁瀬森林公園オートキャンプ場等の整備（H30）</li> <li>・うちんくのビジネス塾を活用し、新事業の検討及び事業計画作成のノウハウの習得（R2）</li> <li>・集落活動センター整備事業費補助金を活用し、車両（ステップワゴン）を購入（R3）</li> <li>・地域住民の無償送迎事業に向けた検討（R4）</li> <li>・ステップワゴンを活用したイベントお出かけ事業を実施（R4～）</li> <li>・森林鉄道オリジナルグッズの販売開始（R4～）</li> </ul> <p>&lt;交流人口の拡大&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知ふるさと応援隊の導入（H26～）</li> <li>・「集落活動センターやなせ」を設立（H31.1）</li> <li>・ワーキングホリデーを活用した人手の確保（キャンプ場従業員）（R5）</li> </ul> <p>&lt;情報発信の取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山村留学ホームページのリニューアル、インターネット広告の利用（H29.4～）</li> <li>・集落活動センターやなせSNSアカウント作成（R元.10）</li> </ul>	<p>&lt;地域資源を活用した新事業の展開&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚梁瀬森林公園オートキャンプ場利用者数</li> <li>H27：890人 R元：1,521人</li> <li>R2：1,165人 R3：1,476人</li> <li>R4：1,521人</li> <li>・山村留学による転入</li> <li>H26：4組</li> <li>H28～R4：累計9組</li> </ul>	<p>観光客入込数</p> <p>&lt;目標値（R5）&gt; 6,300人 （年間）</p> <p>&lt;出発点（H30）&gt; 4,853人 （年間）</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; — （年間）</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 4,882人 （年間） 【R4年度末】</p>	C	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規事業については様々な事業を検討してきたが、人材不足、資金面などの理由からどれも実施には至っていない。</li> <li>・令和2年度から集落活動センターやなせが指定管理者となって運営している魚梁瀬森林公園オートキャンプ場と魚梁瀬森林鉄道については、利用者数は順調に増加してきてはいるものの目標値を達成するまでには至っていない。</li> <li>・車両を購入し新たに福祉事業（イベントお出かけ事業）に取り組むことができた。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・馬路村全体における人手不足</li> <li>・キャンプ場のログハウスや森林鉄道の線路など観光施設の設備の老朽化が進んでおり修繕等が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者である魚梁瀬森林鉄道と魚梁瀬森林公園オートキャンプ場の円滑な運営</li> <li>・車両を活用した福祉事業（イベントお出かけ事業）の定期的な実施</li> </ul>

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性	
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価		
<p>30 集落活動センター「げいせいを拠点とした”小さくてもっと元気で輝くむら”づくり</p> <p>《芸西村》</p> <p>芸西村の住民が集落活動センターを中心に集まり、耕作放棄地を活用した農産物の栽培・販売や竹書への対策事業等の取り組みを通して地域の課題を解決していくとともに、村産品の加工品づくりや磨き上げを行って地域活性化を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎集落活動センター「げいせい」</li> <li>芸西村</li> </ul>	その他	<p>&lt;特産品づくりと外商活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専門家の指導のもと、白玉糖を活用した加工品を開発（R元～）</li> <li>「うちんくのビジネス塾」を活用し、商品のパッケージやPOP作成について専門家の支援を受ける（R元）</li> <li>集落活動センター「げいせい」を一部改修し、生産拠点として整備（R元）</li> <li>加工品の統一ロゴ完成（R2）</li> <li>食品衛生協会によるHACCP専門家派遣（R2）</li> <li>芸西村のふるさと納税返礼品として出品（R2）</li> <li>県版HACCP18ステージ2取得（R3）</li> <li>中山間地域アドバイザー（お菓子作り専門家）派遣：3回（R3～）</li> <li>白玉糖加工品の販売店舗の拡大（ロイヤルホテル土佐、高知空港、ANAキャンペーン他）（R3～）</li> <li>グルメ&amp;ダイニングスタイルショー@東京に参加（R4）</li> <li>高知県産品商談会@ちばさんセンターに参加（R4）</li> <li>ふるさと・えいもん集マルシェへの参加（R4）</li> </ul> <p>&lt;経済的自立に向けた取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サトウキビ栽培・白玉糖販売を開始（H28～）</li> <li>耕作放棄地におけるシキミの栽培及びかつば市での販売を開始（H29～）</li> <li>竹林伐採の受託事業を開始（H30～）</li> <li>「竹灯りの窩」の設営・準備を受託（R3～）</li> </ul>	<p>&lt;特産品づくりと外商活動&gt;</p> <p>白玉糖加工品等販売額 H30：108万円 →R2：180万円 →R3：308万円 →R4：314万円</p> <p>白玉糖加工品等取扱い事業者 R2：1事業所 →R3：6事業所</p> <p>&lt;経済的自立に向けた取り組み&gt;</p> <p>竹林伐採等の受託等 H29：50千円 →R2：1,124千円 →R3：1,668千円 →R4：3,808千円</p>	加工品等販売額	<p>&lt;目標値（R5）&gt; 500万円 （年間）</p> <p>&lt;出発点（H30）&gt; 108万円 （年間）</p>	<p>&lt;R5年度末見込&gt; — （年間）</p> <p>&lt;直近の実績&gt; 314万円 （年間） 【R4年度末】</p>	D	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中山間振興アドバイザーを活用し、お菓子づくりの講習を実施したことにより、新商品の開発・販売に至った。（酒粕プリン・白玉糖ムース等）</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>白玉糖などのさらなる販路拡大</li> <li>集落活動センターで行う事業の精査</li> <li>若い会員の獲得</li> <li>現在の加工施設では量産が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集落活動センター「げいせい」の活動継続のため、センターの担い手を増やしていくことが必要</li> <li>商談成立した企業との継続した取引のためのフォローアップが必要</li> <li>顧客に飽きられないように新商品の開発が必要</li> <li>芸西村小学校6年生から提案のあったお菓子をお披露目する機会を村とともに協議する。</li> </ul>